

町中華、
準備中に
人妻は……

本文

80P





一ツ
¥100

一ツ
¥100

イヌ
¥100

一ツ
¥600

子
¥100

版
¥100

菜
¥100

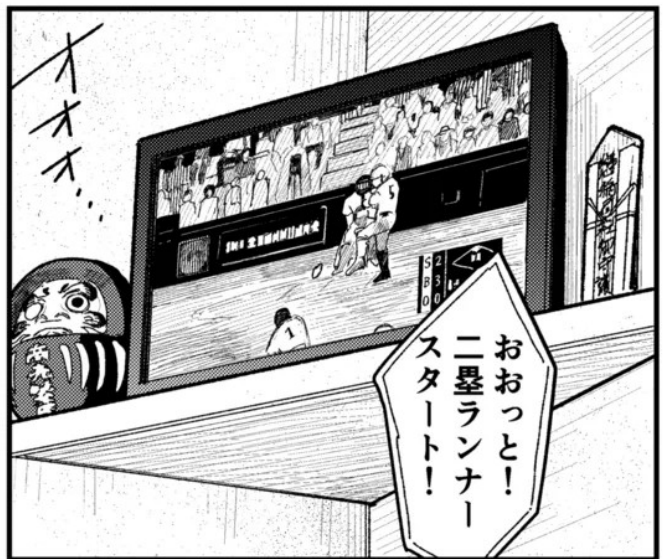
炒め
¥550

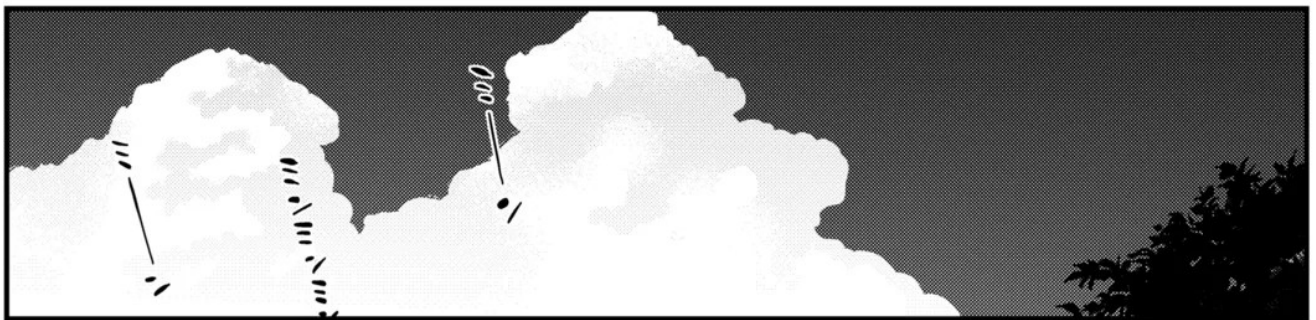
炒め
¥600

炒め
¥850

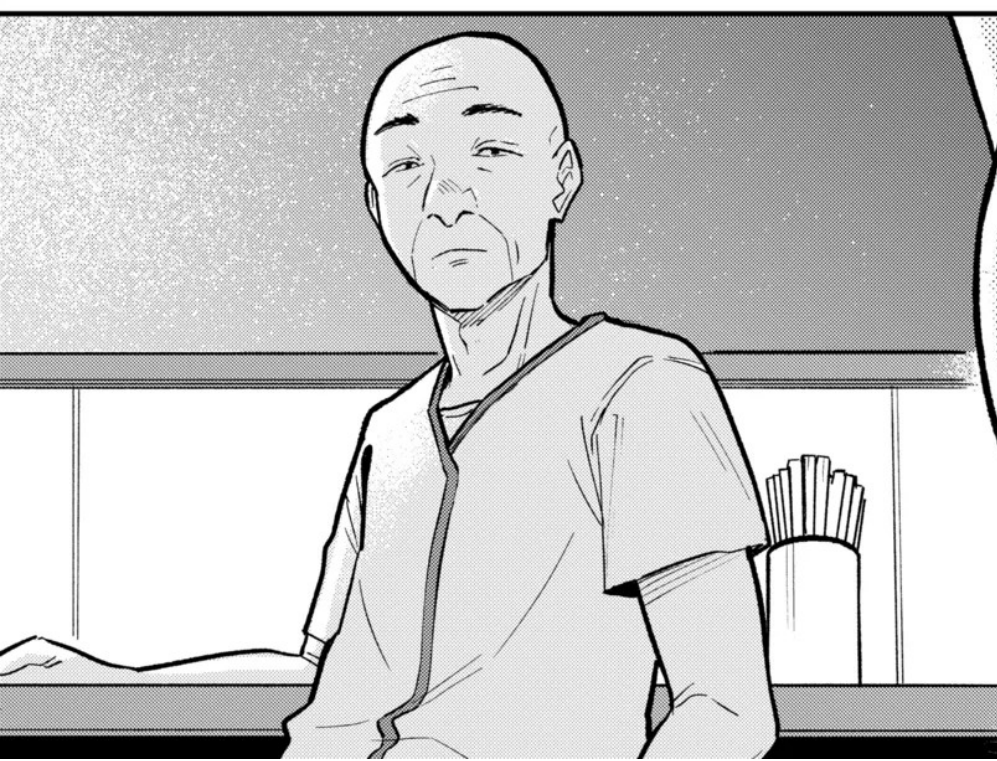
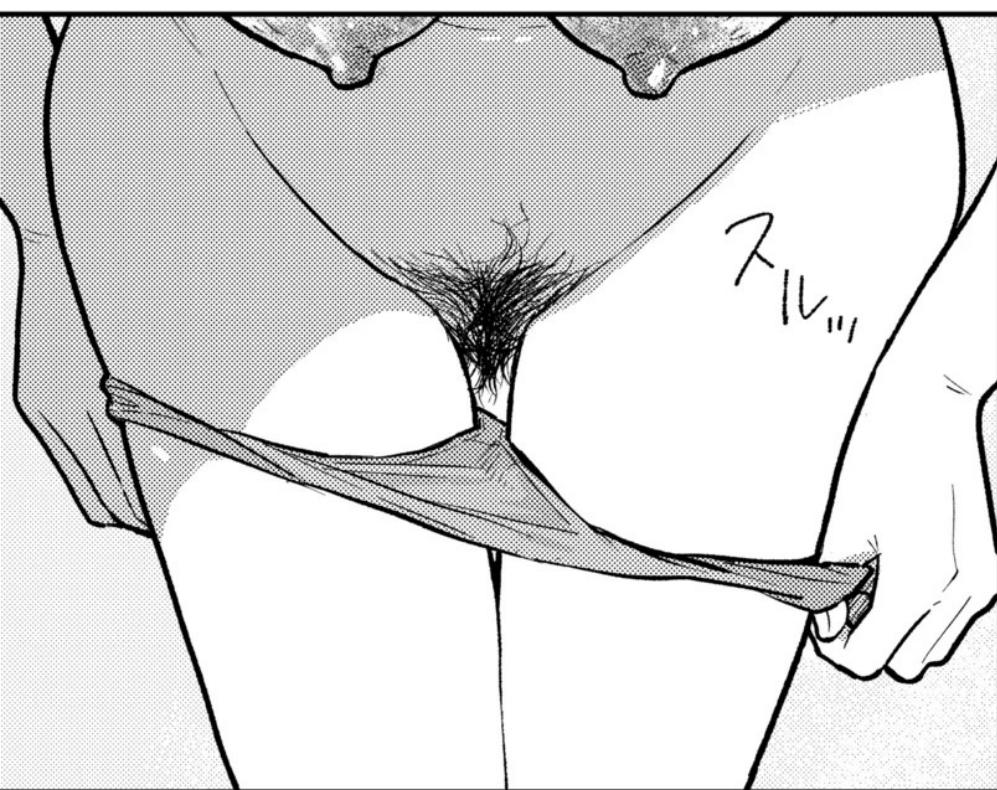
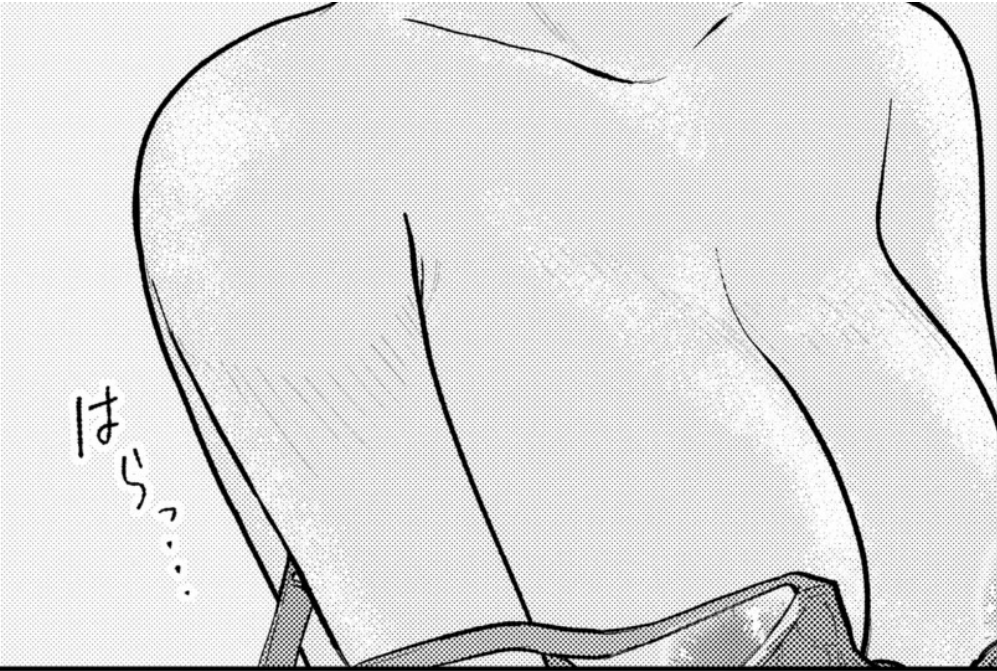
炒め
¥100

町中華、
準備中に
人妻は…











脱ぎました……

お風呂の湯 1000

八宝菜 1000

酢豚 1000

餃子 1000

ビール 1000

焼酎 1000

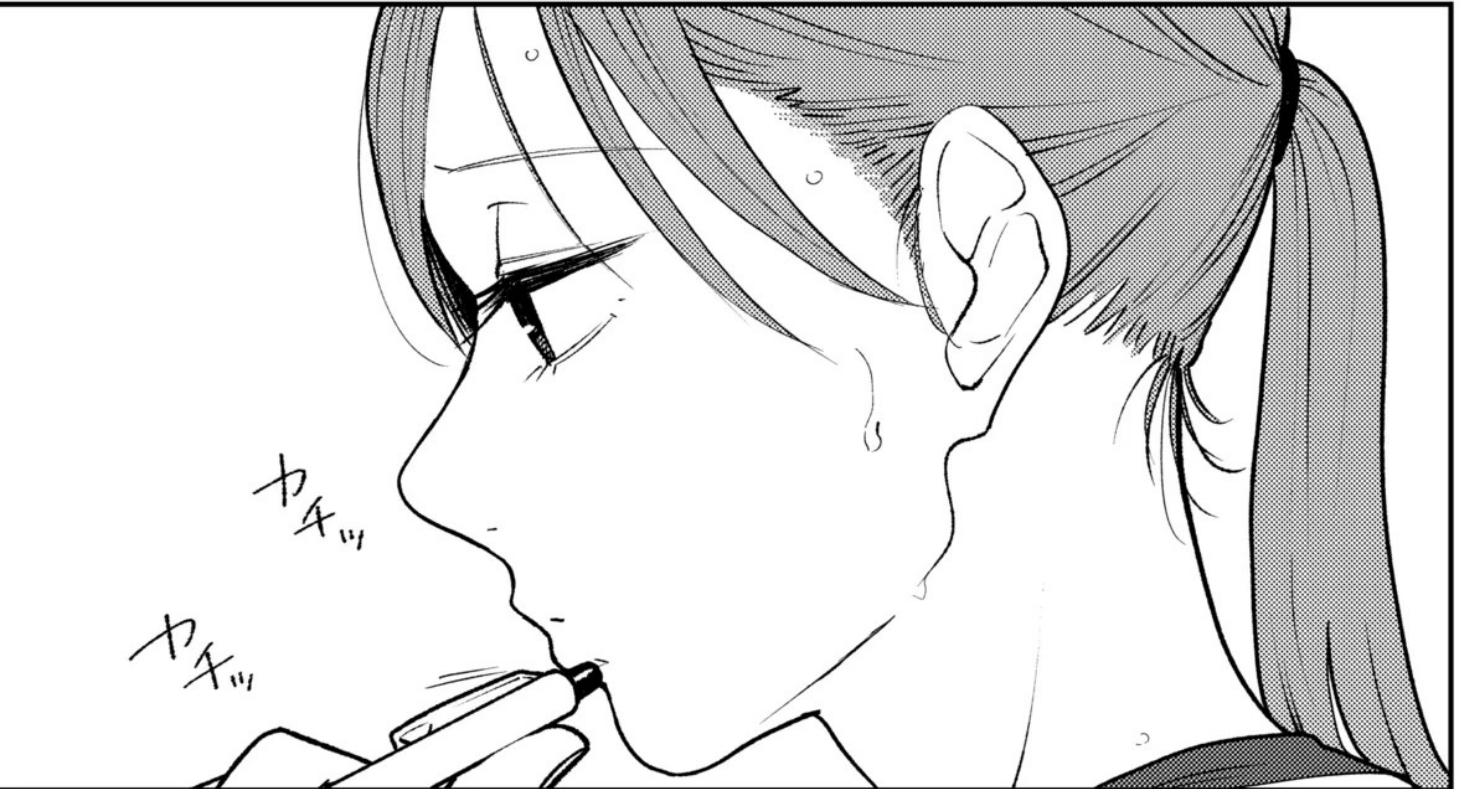
酒 1000

野菜スープ 4350

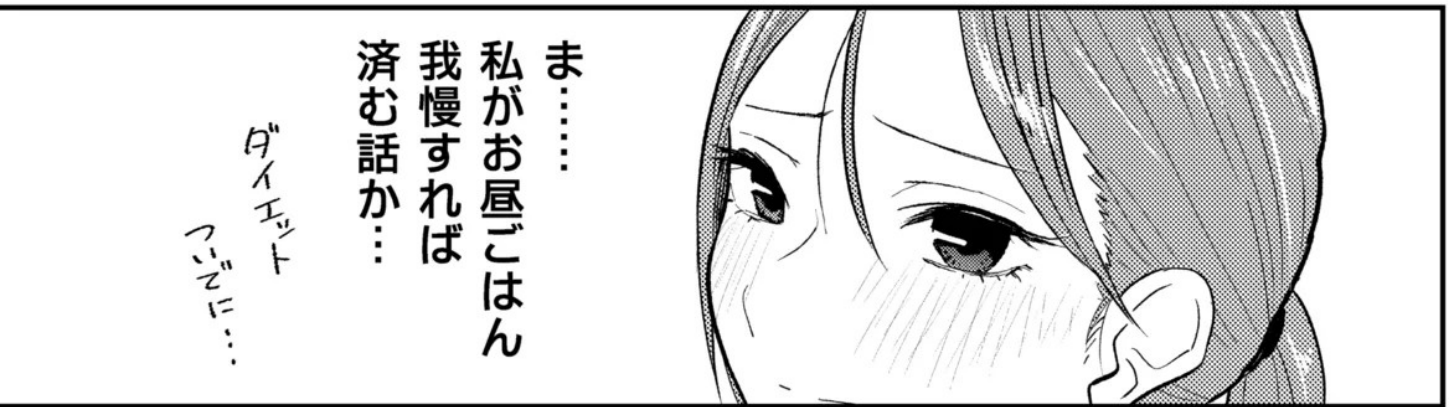
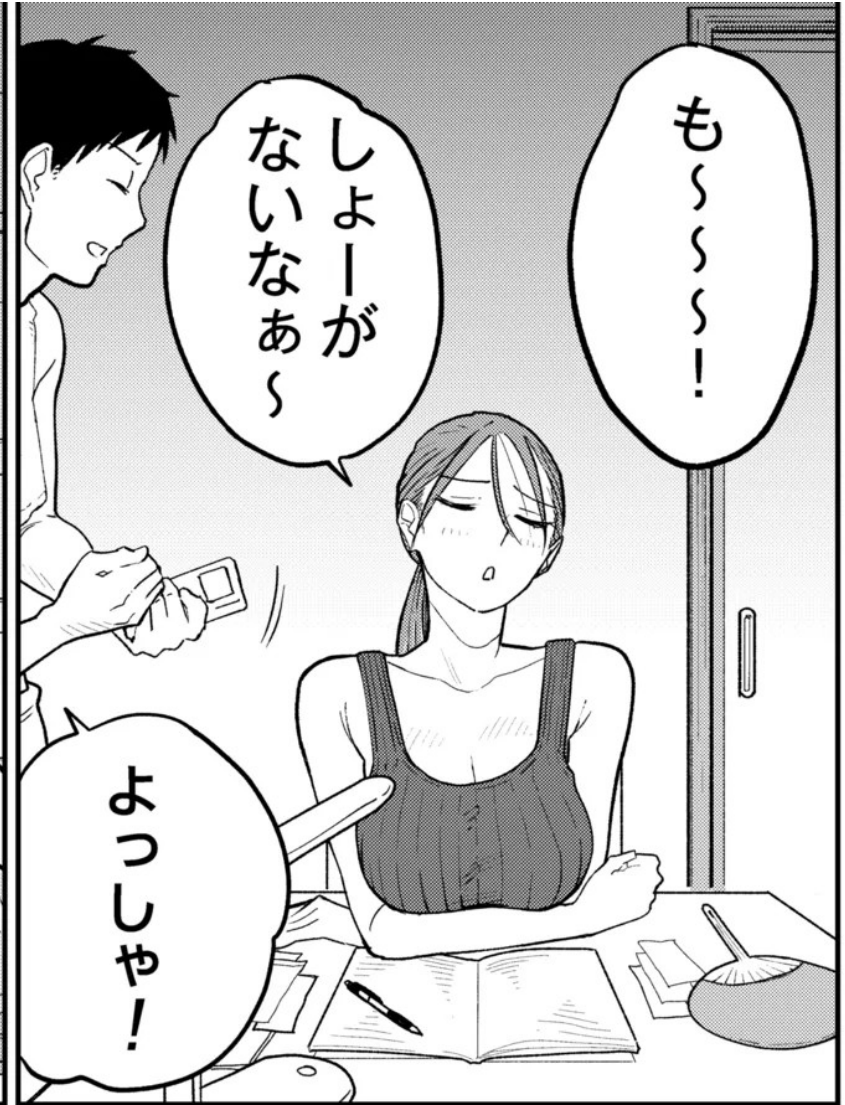


!!
...

一ヶ月前









けど……

そんな無理すること……

大丈夫だって！



いやあ妊活中はバイトしないつもりだったけど……

やっぱできるだけお金貯めといた方が安心じゃん？



今日ねいいところ見つけたの！

近所の中華屋さんなんだけど……

なんと時給千八百円！

えっすごっ！

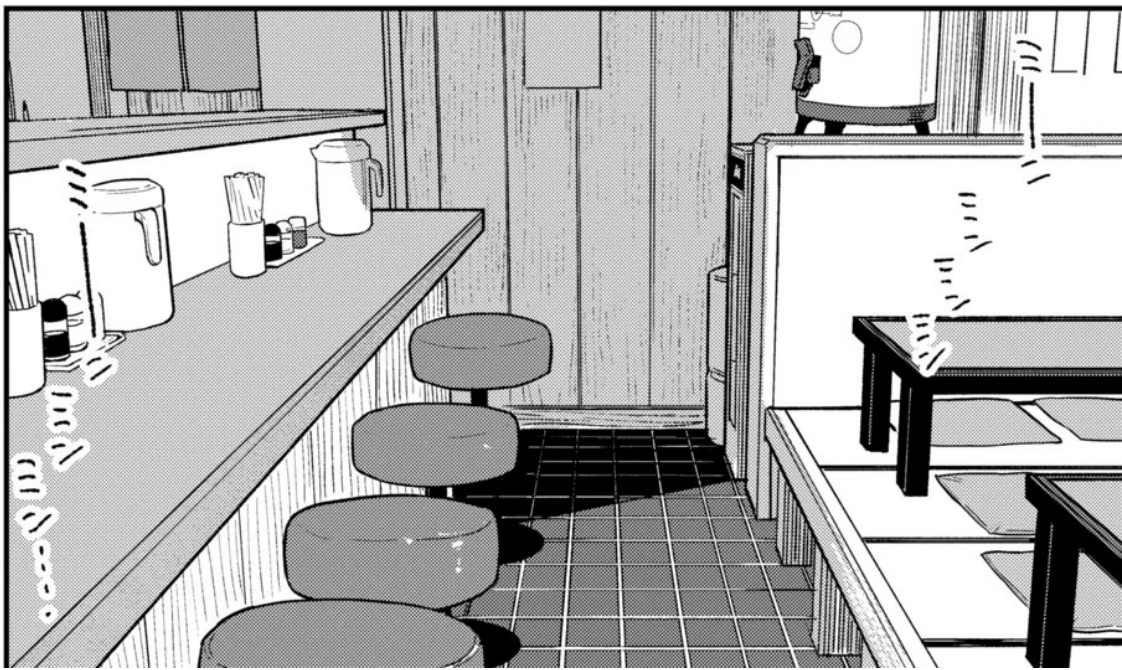
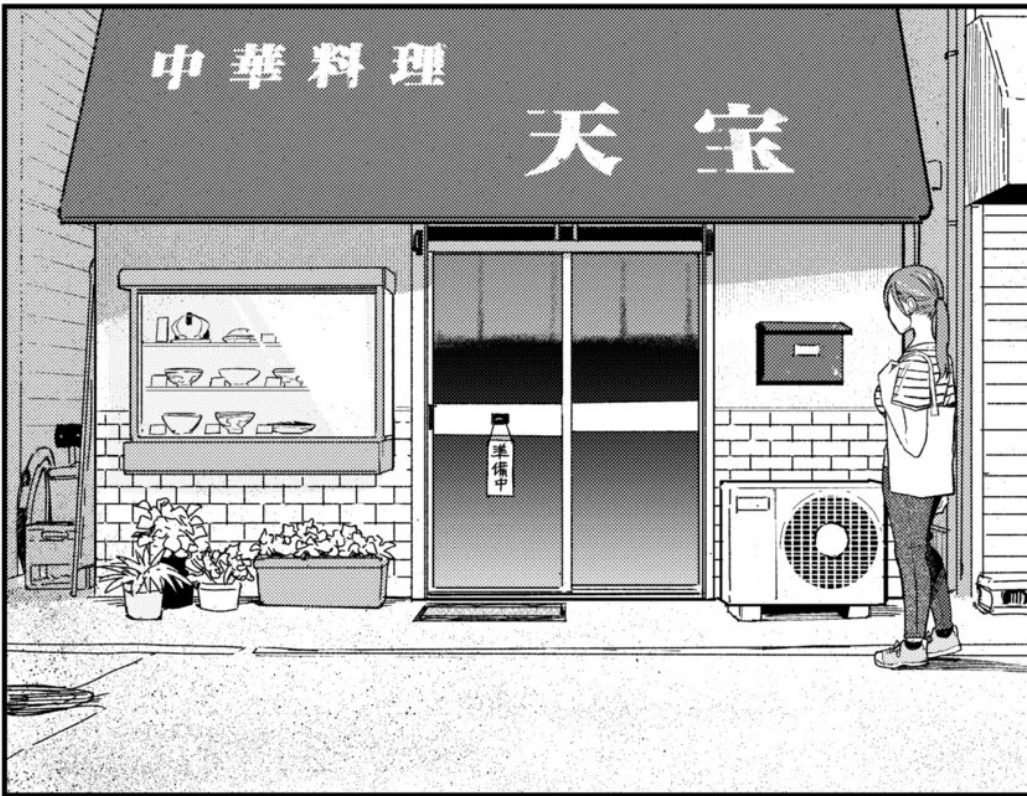
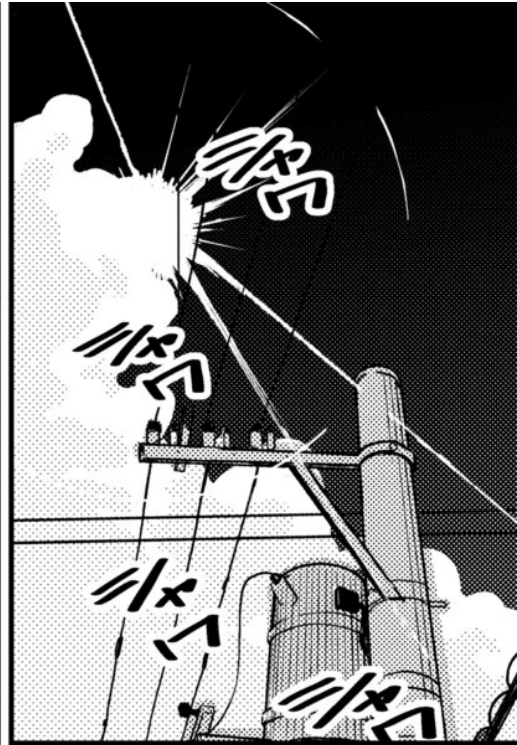
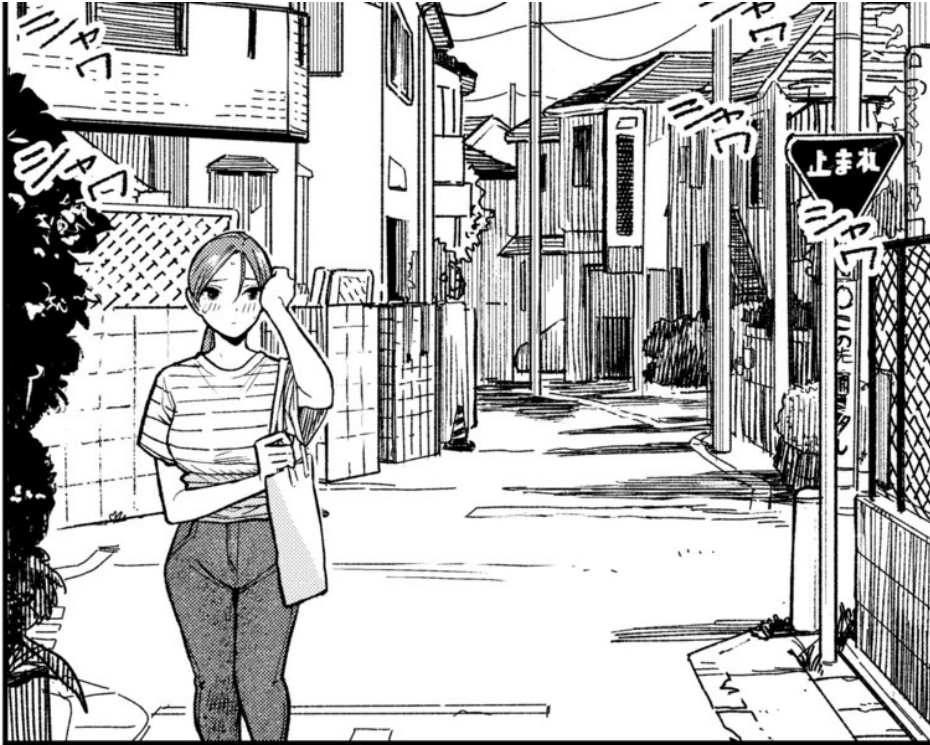
でしょ？

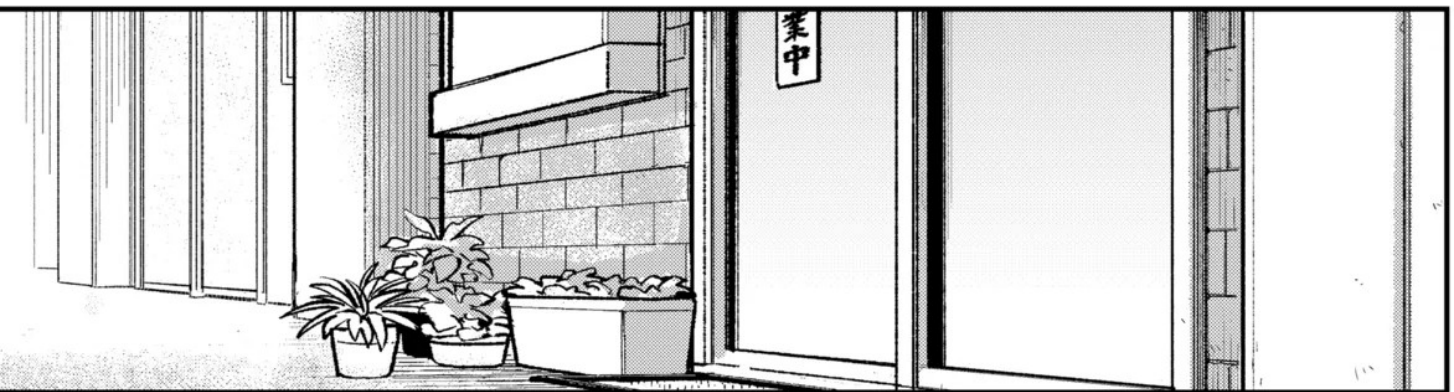
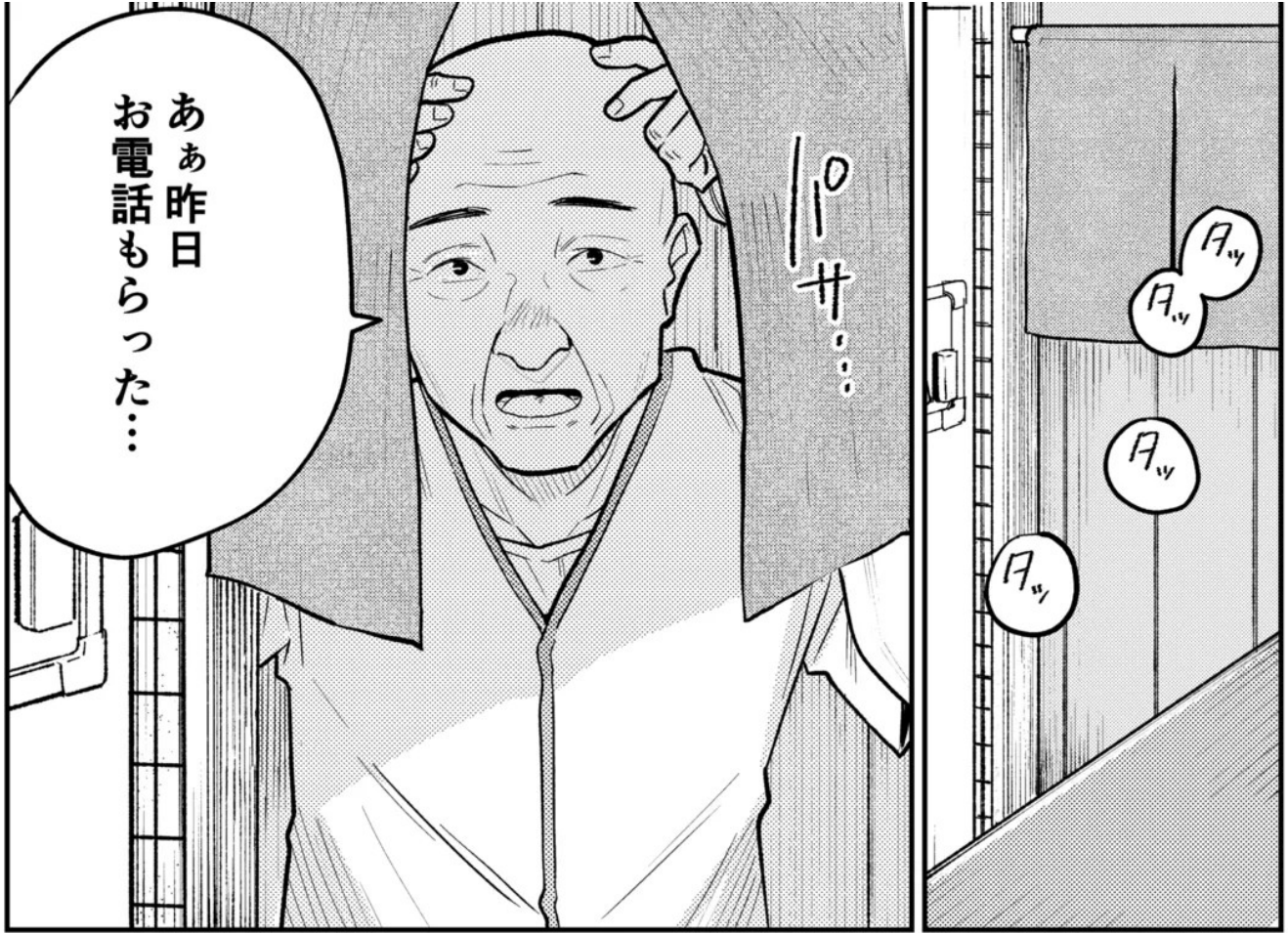


うおおお！

俺も早く給料上がるように頑張るわ！







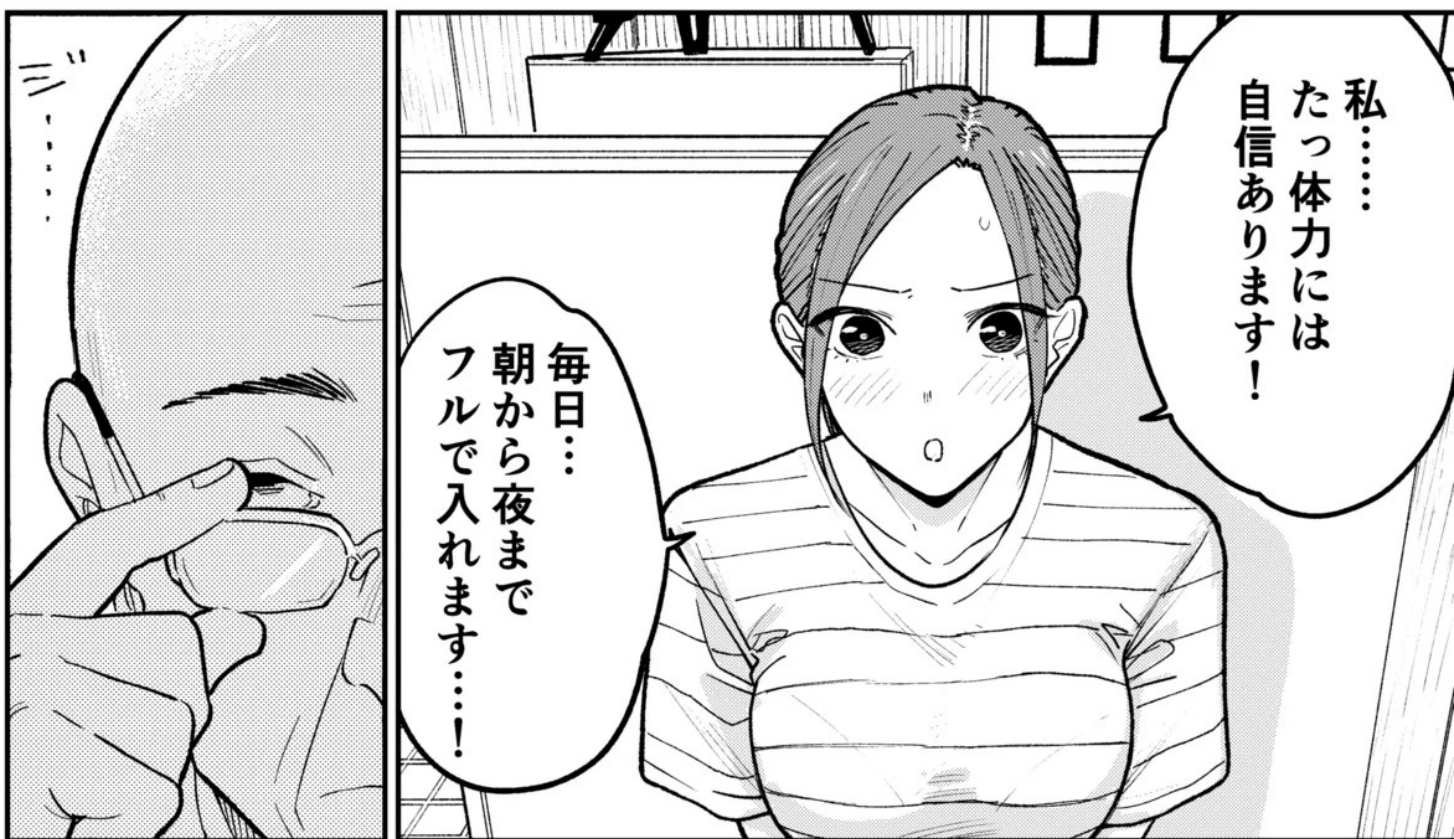


そのために
なるべくお金貯めて
おきたいんです

この前まで
駅裏のスーパーで
働いてたんですけど

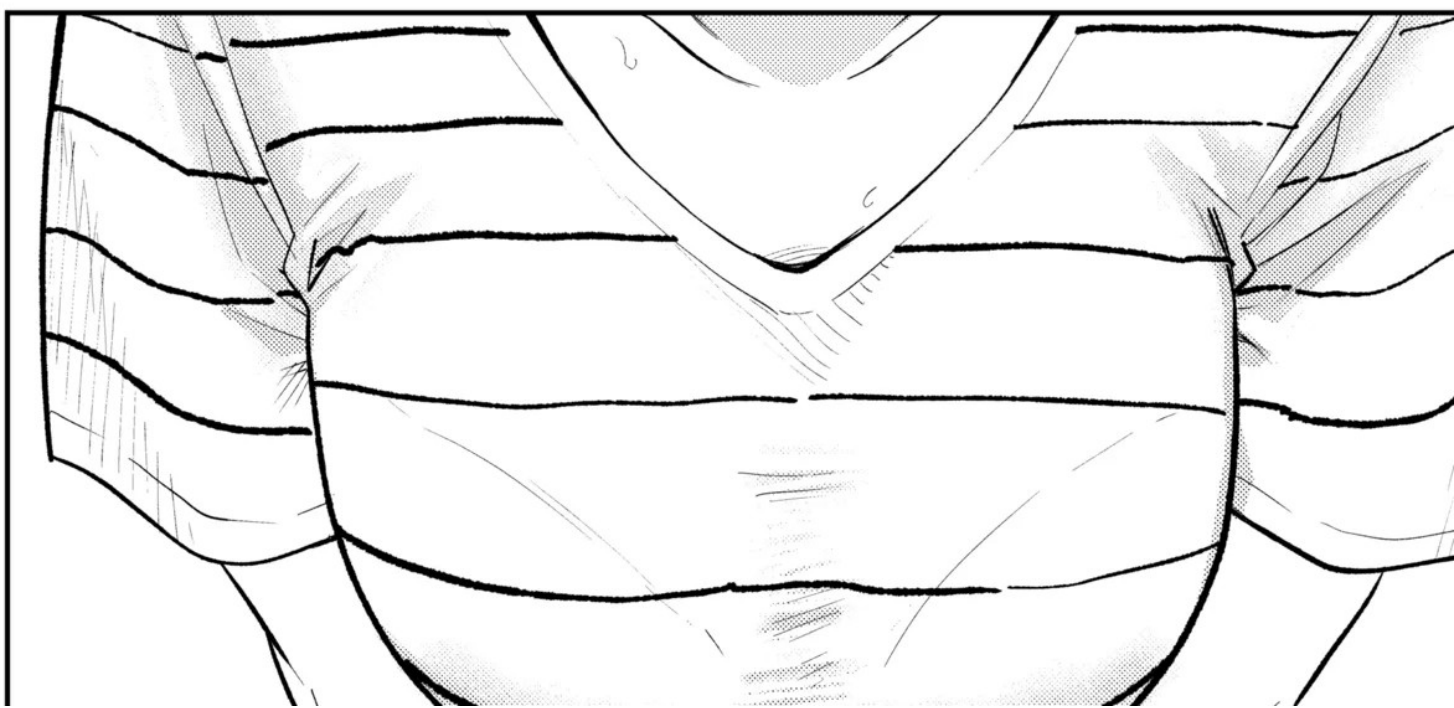
5月いっぱいでお店
閉めちゃって…

ああ
ヤオマツさんね

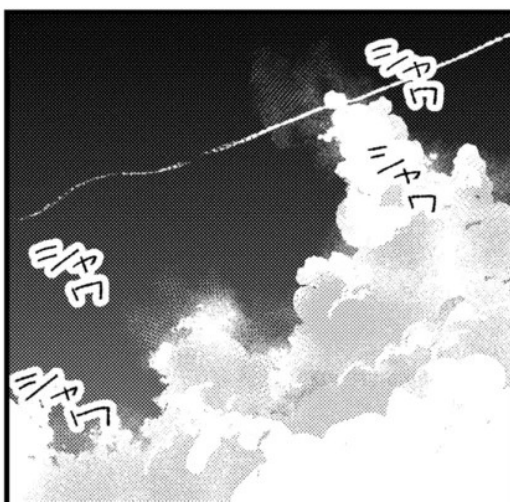


私……
たっ体力には
自信あります！

毎日……
朝から夜まで
フルで入れます……！！









おいしかったあ

ふー

ト

ハハッ

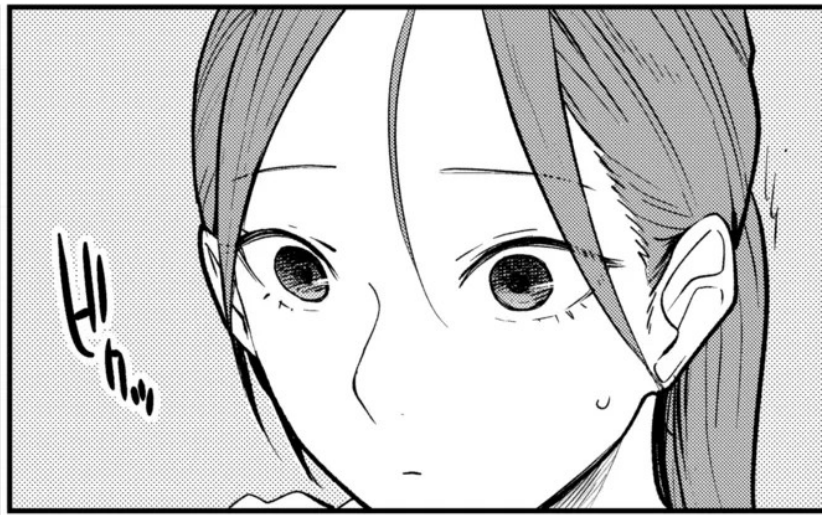
嬉しいこと
言ってくれるねえ

五目そば
美味しくて
つい夢中で……

あ……
すみません

いいいっ
ぷりだ

ん





ひとつ頼み事が…
あんだがな……



麻美さん……

……はい



ああ……

馬鹿げたことを
承知で
聞くんだが……

頼み事……
ですか？

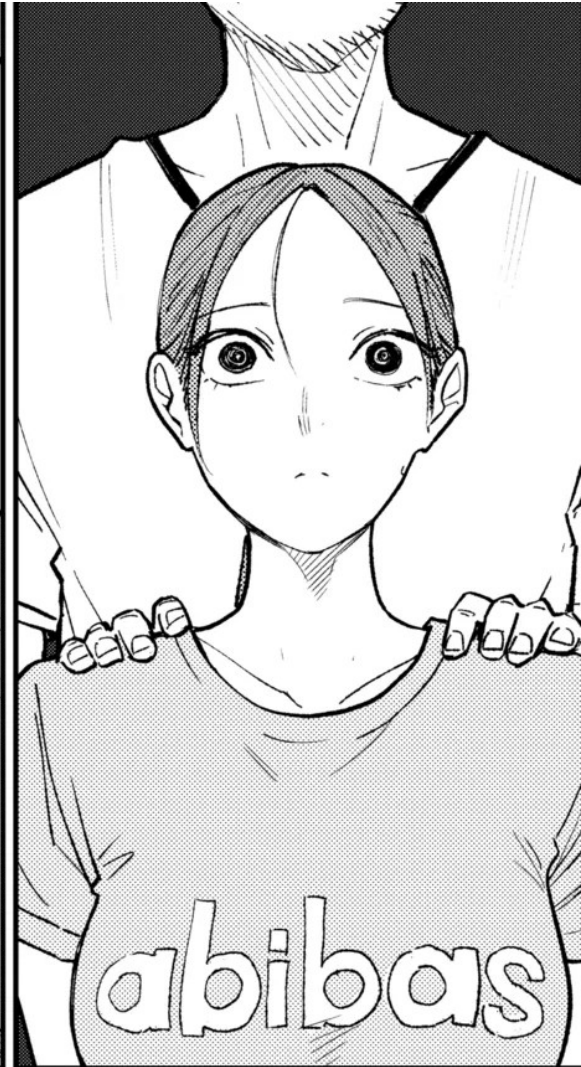


麻美さんの乳房
揉ませてくれんか？



もちろん
タダって
わけじゃない…

時給を今の
倍にするってので
どうだ……？



abibas



え……？
急に
何言ってるの
……？

お金の問題じゃ
ないでしょ……
……てか倍って……
え……？



いやいや
だからって
胸揉ませるとか
ありえないから……！！

……でも



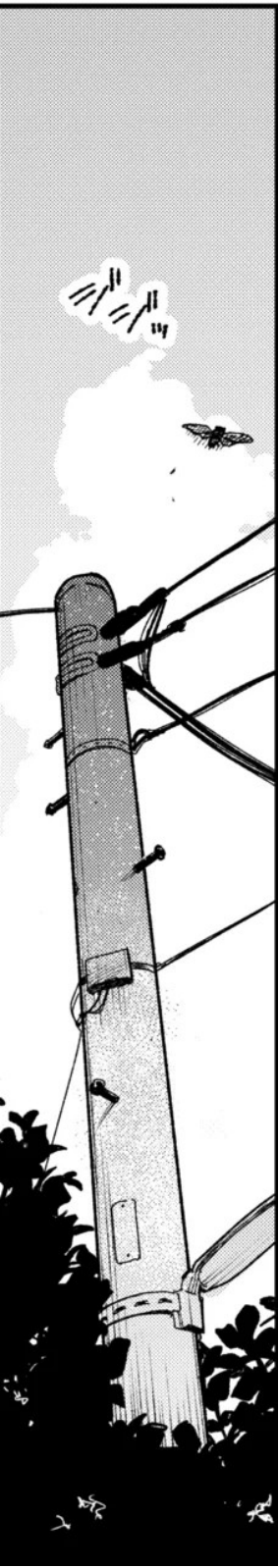
この辺で
そんなおいしい時給
他にないよ……？



急にこんなこと
言われても
困るわな……

す!!
す!!
いやっ……!

ほっ



すまんっ……
今のは
忘れてくれ……

あのっ!



ふっ
服の上から……
なら……





ハリがあつて
ずっしり
重くて……

こりや
仕事の疲れが
吹き飛ぶ



こんな胸に
お目にかかったのは
初めてだ……



我慢だ
私……!

お金の
ためだ……



準備中



それから毎日
休憩時間になると
必ず

店長に
胸を揉まれる
ようになった



お金
ちゃんと
入ってる...



うま...
うん...

うまく
やってるよ...



ああ
そういや

最近バイトの
調子どう?
順調?

えっ!



はじめは少し
胸を揉ませるだけの
つもりだった……



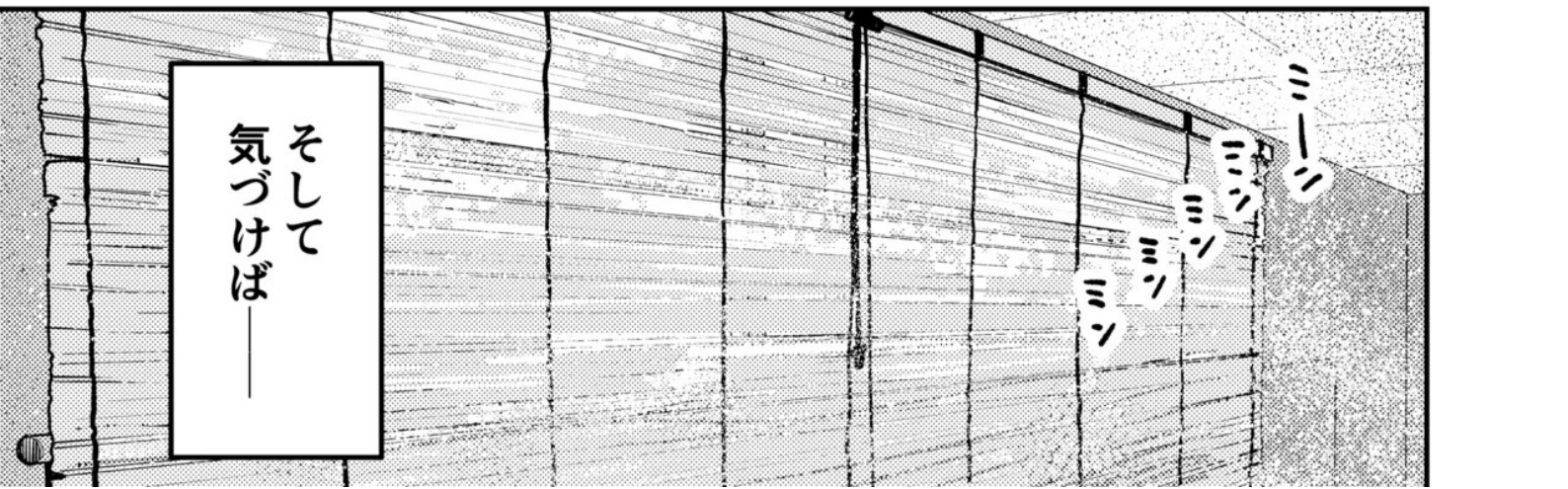
それが
店長の要求は
毎日に増えていき

時間も
長くなっていった

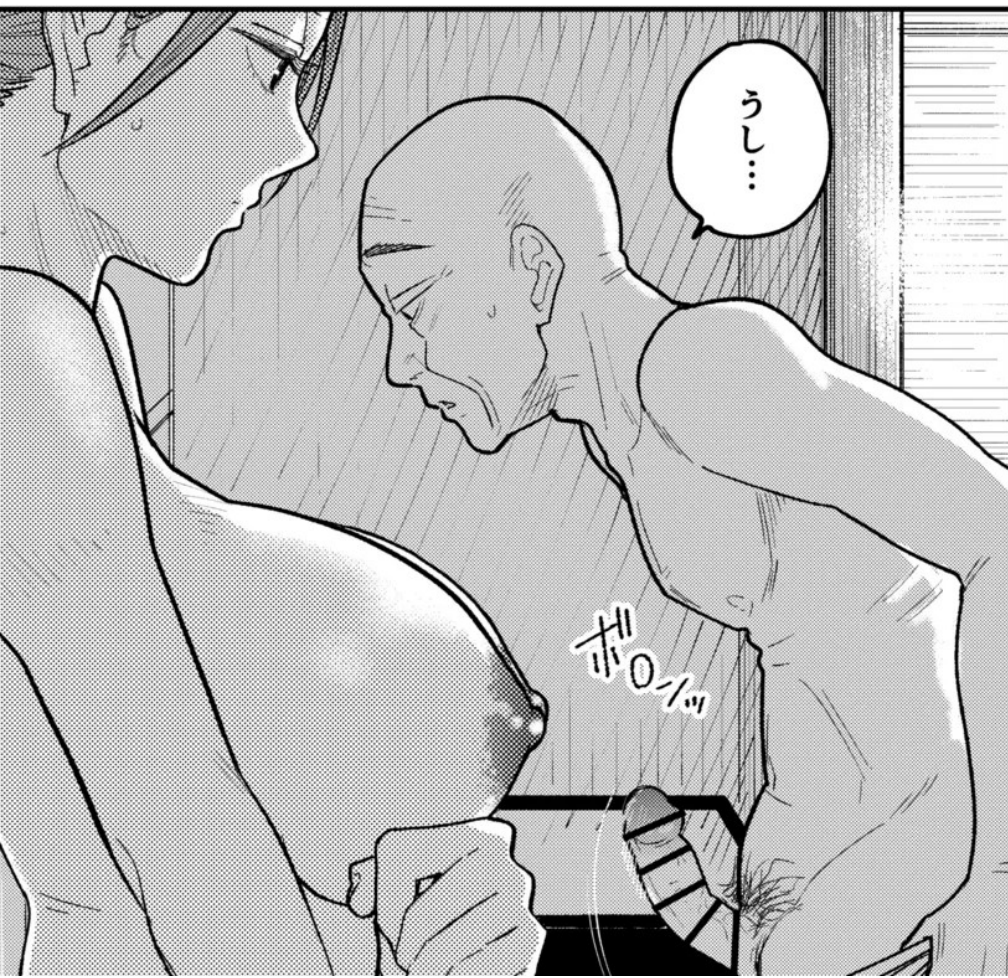


私は
家計のためだと
自分に言い聞かせ

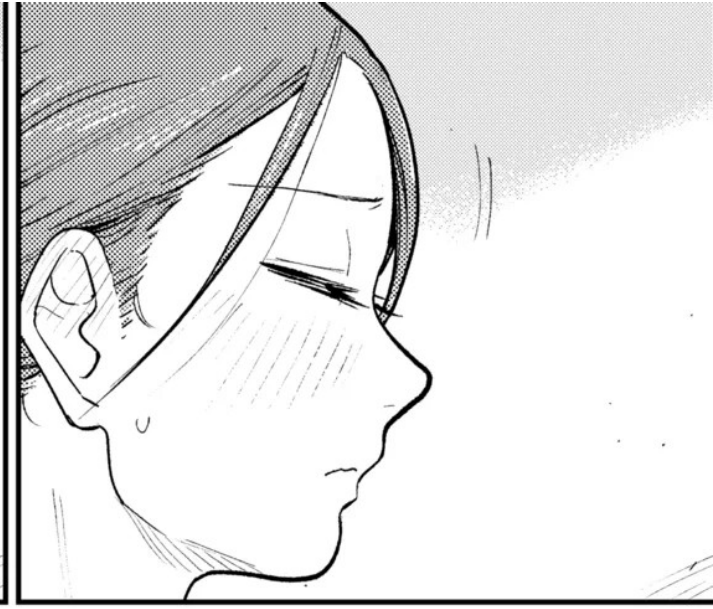
店長の性欲に
応え続けた

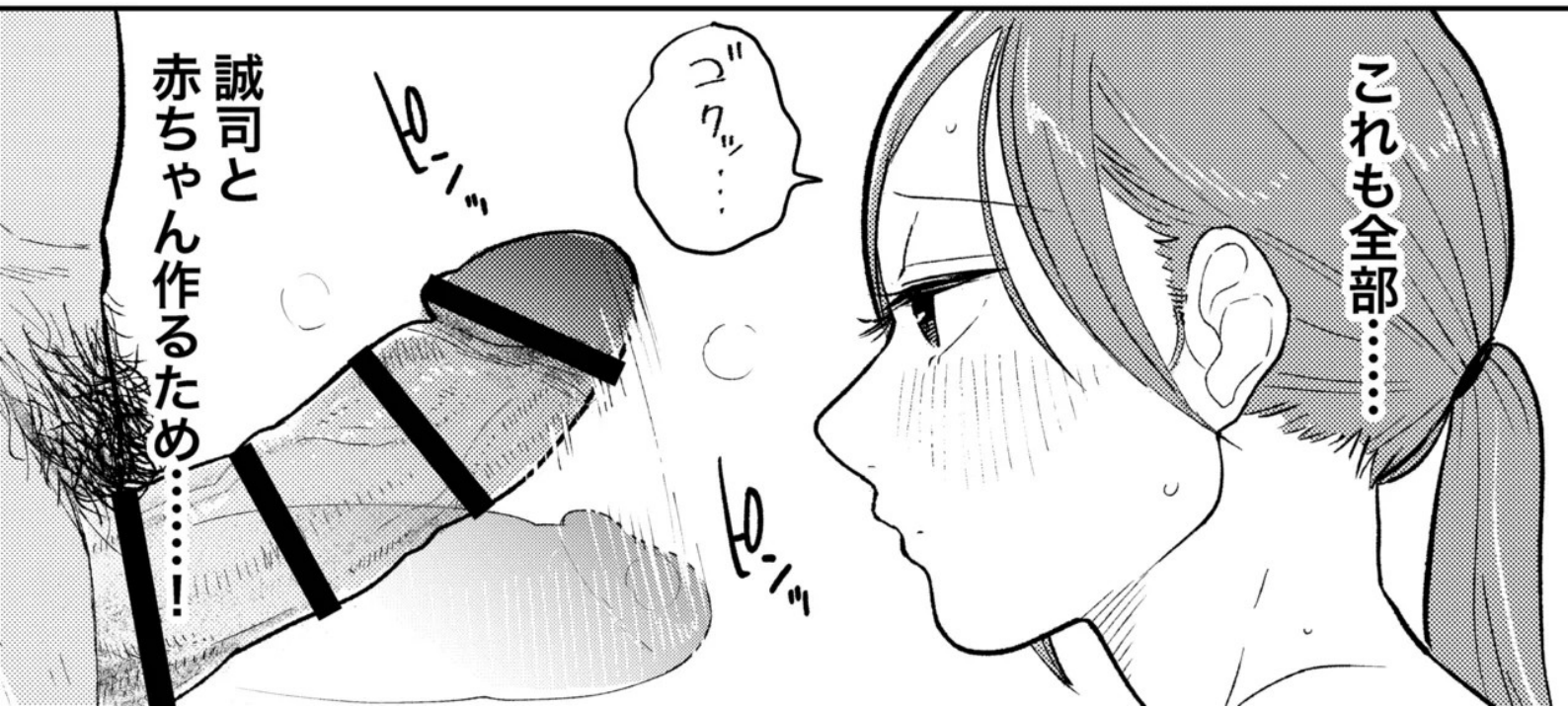


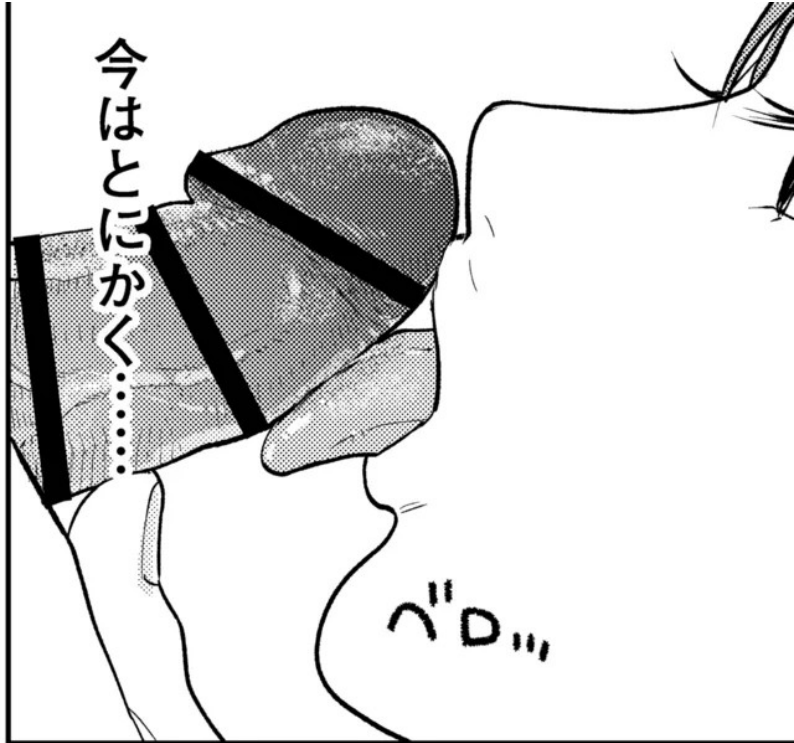
そして
気づけば――













うし：
そんじゃあ

かかきまわす
……？

そのまま口の中で
ちんぽを
乱暴に掻き回して
くれっか？

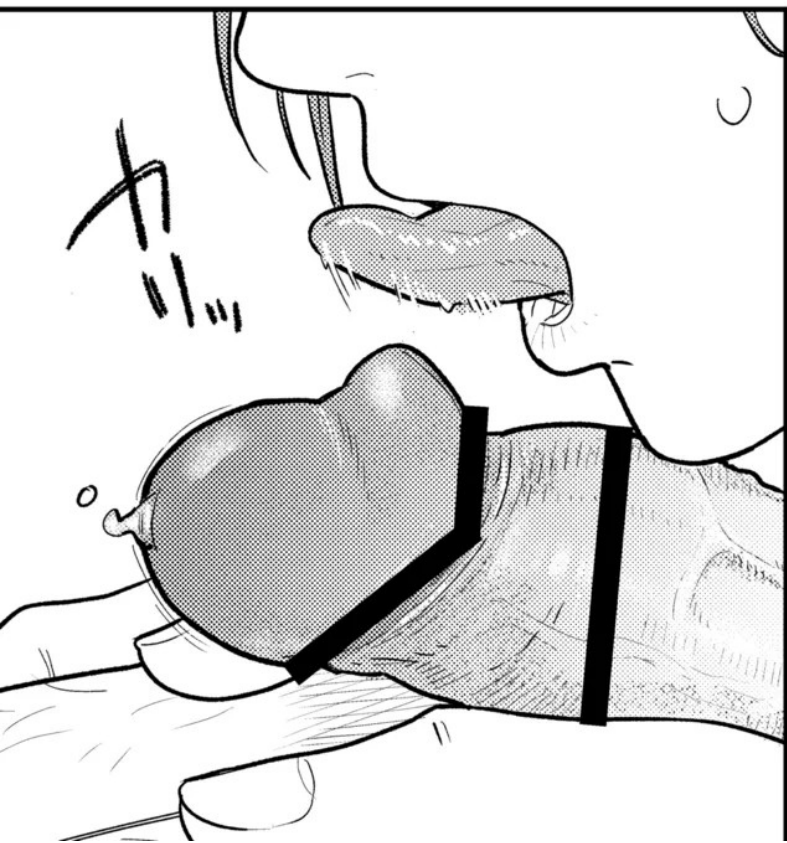
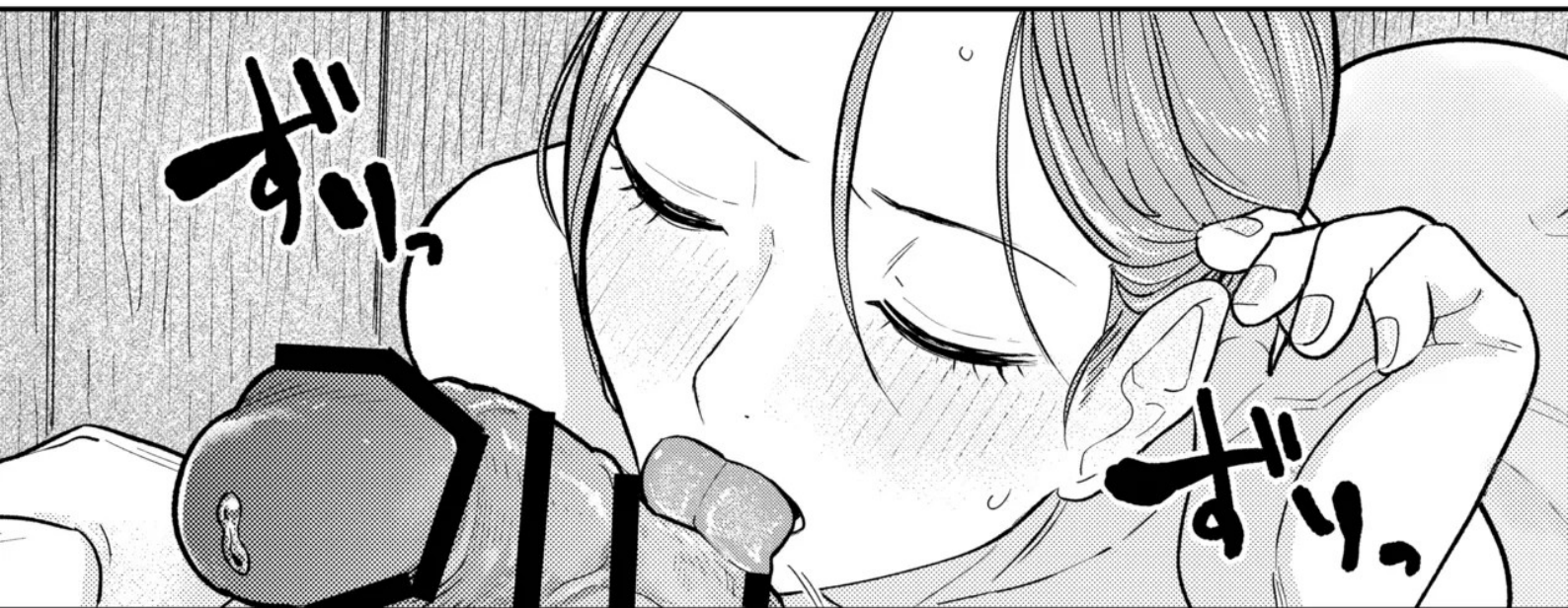


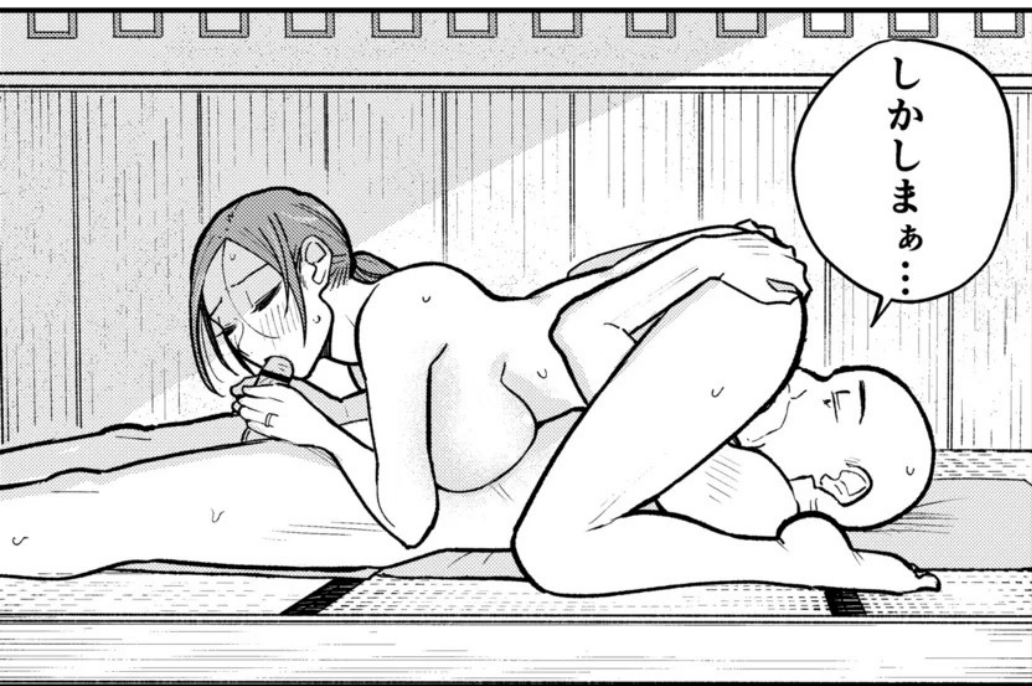
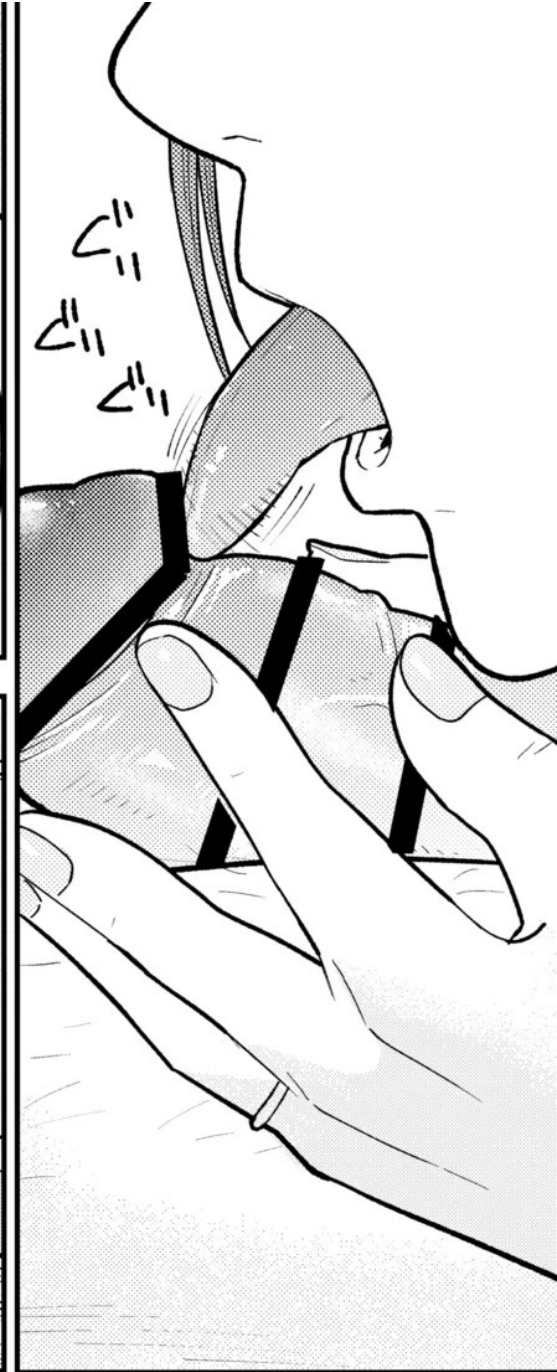
ちんぽ
啜ってる
麻美さんは

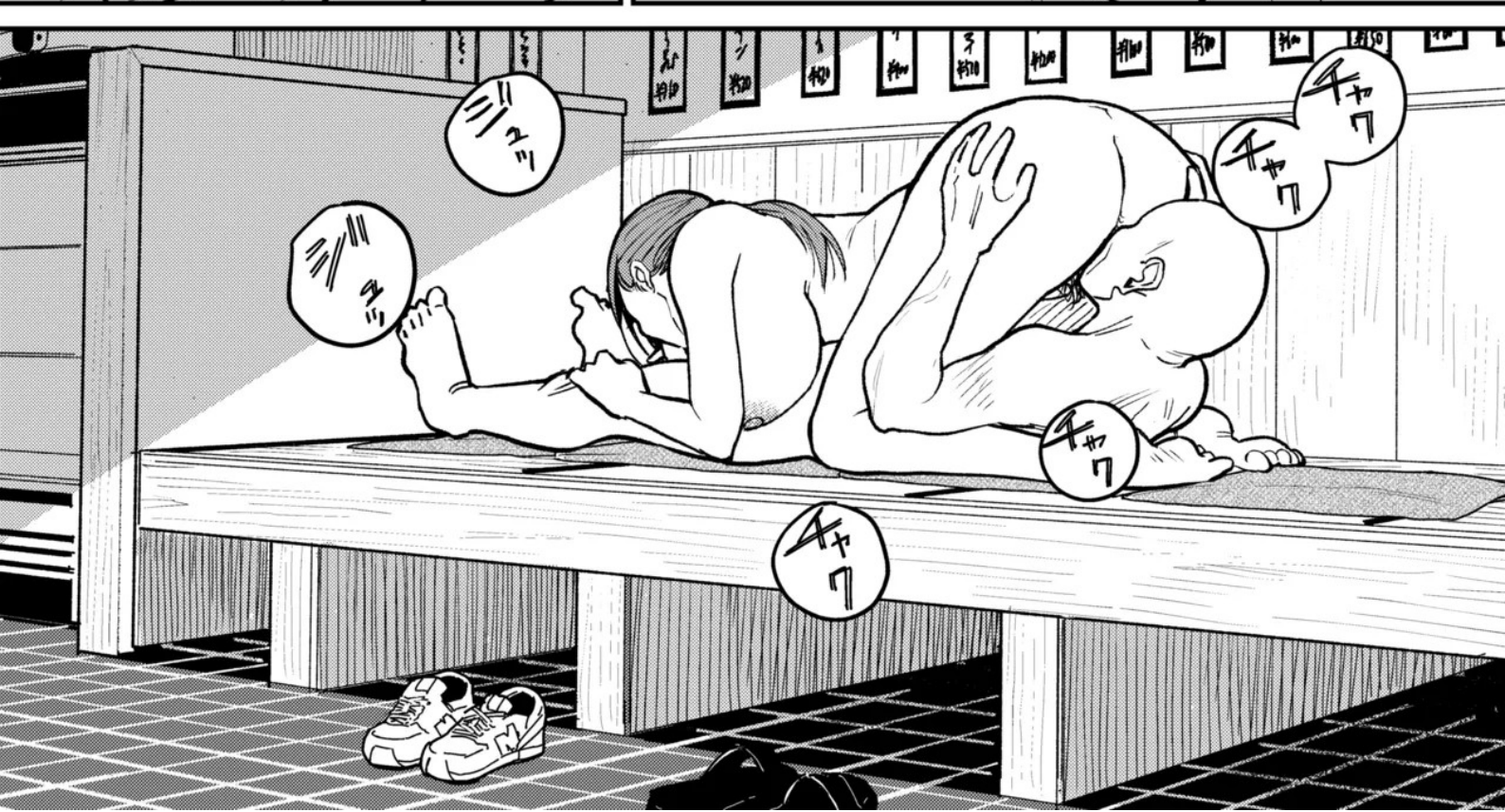
ほんつと
卑猥な顔
しとるな

ガガガ

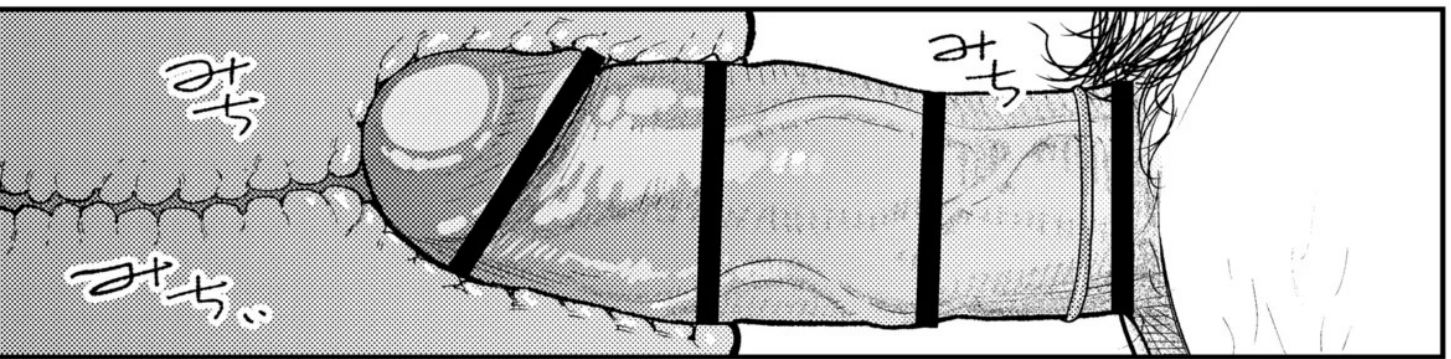
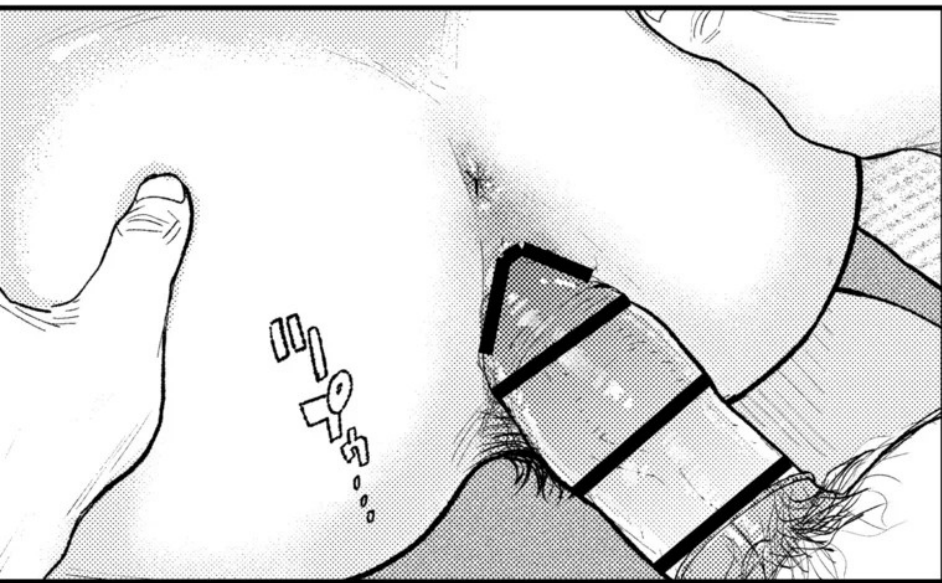














おおおおお……



……ん?



いや……

……
それは



麻美さん……

さては昨日
旦那としたな?



いつもより
きゆうっと
狭くってな

すっかり
旦那様に
戻つとるわ…



なあに…

いくら麻美さんが
隠したって
膣は正直だぞ？



一度は
味わって
みたいもんだ



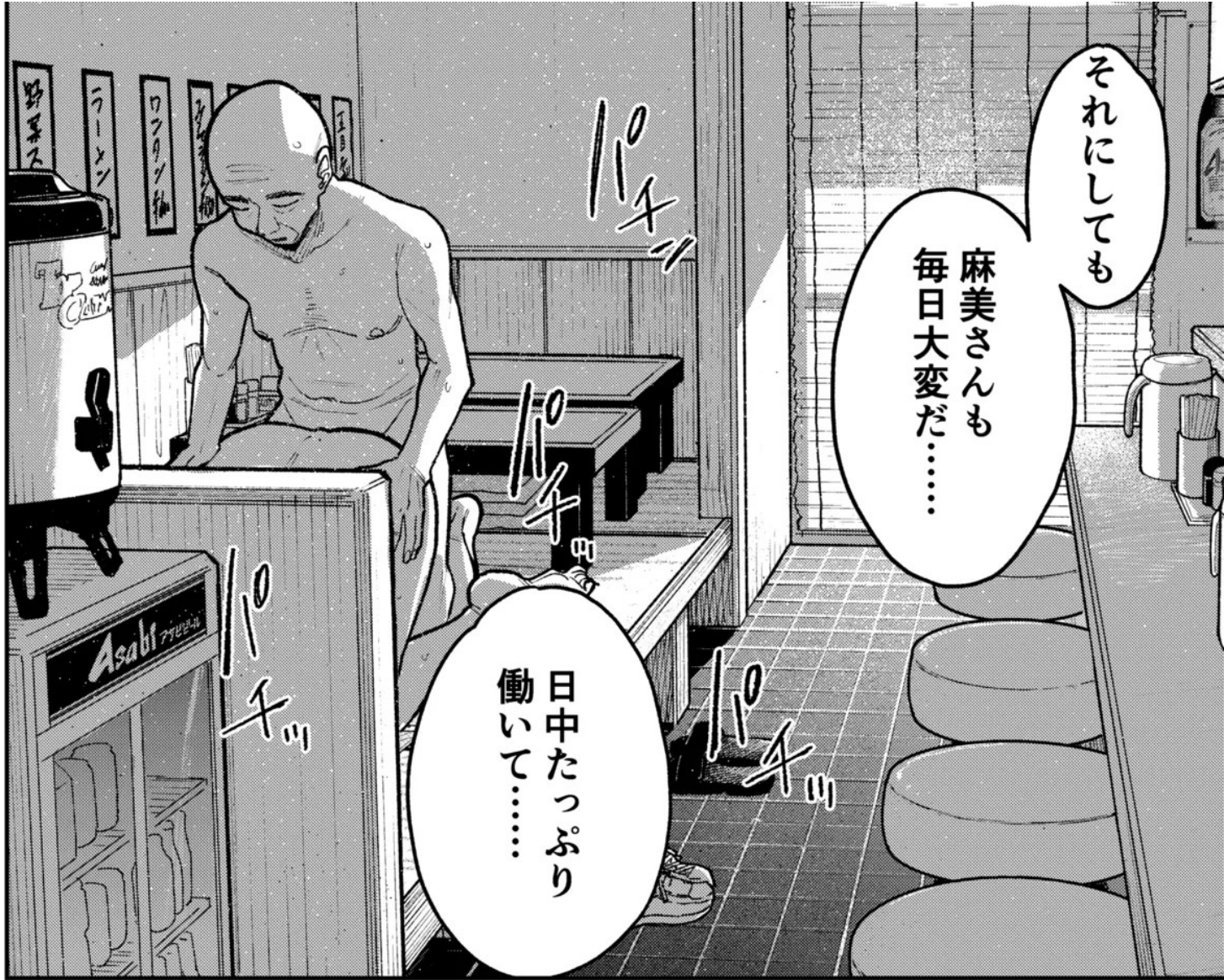
つくづく

旦那さんが
羨ましい

麻美さんの
肉壁にくひだを直に
擦こすれるなんてなあ



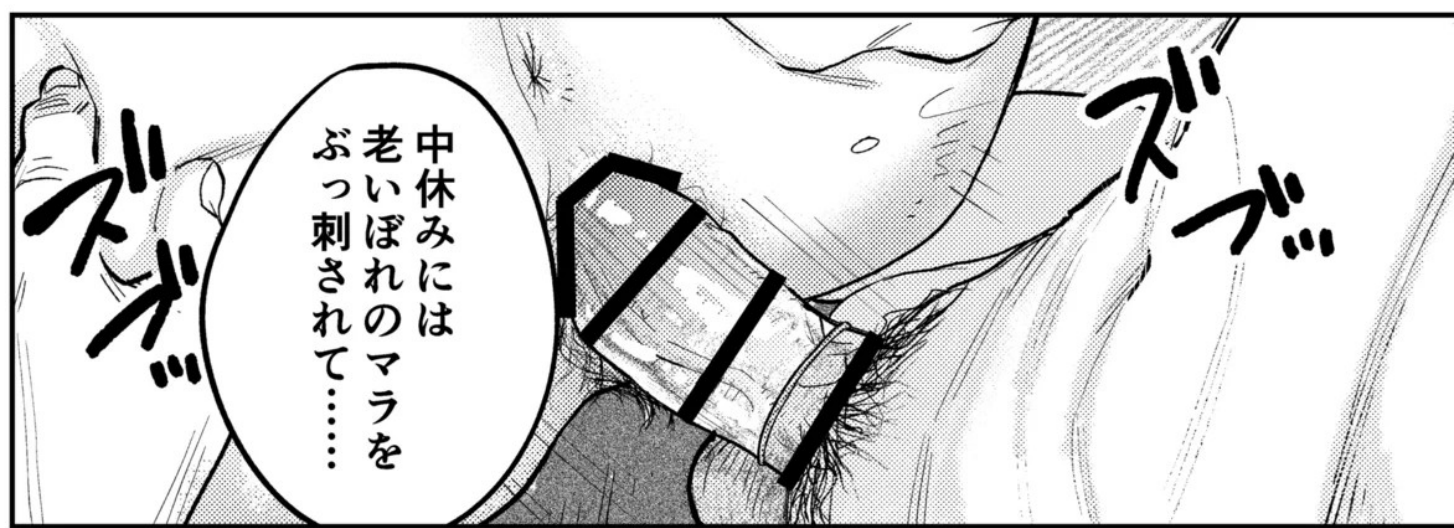
生だけは
絶対
ありえないから…



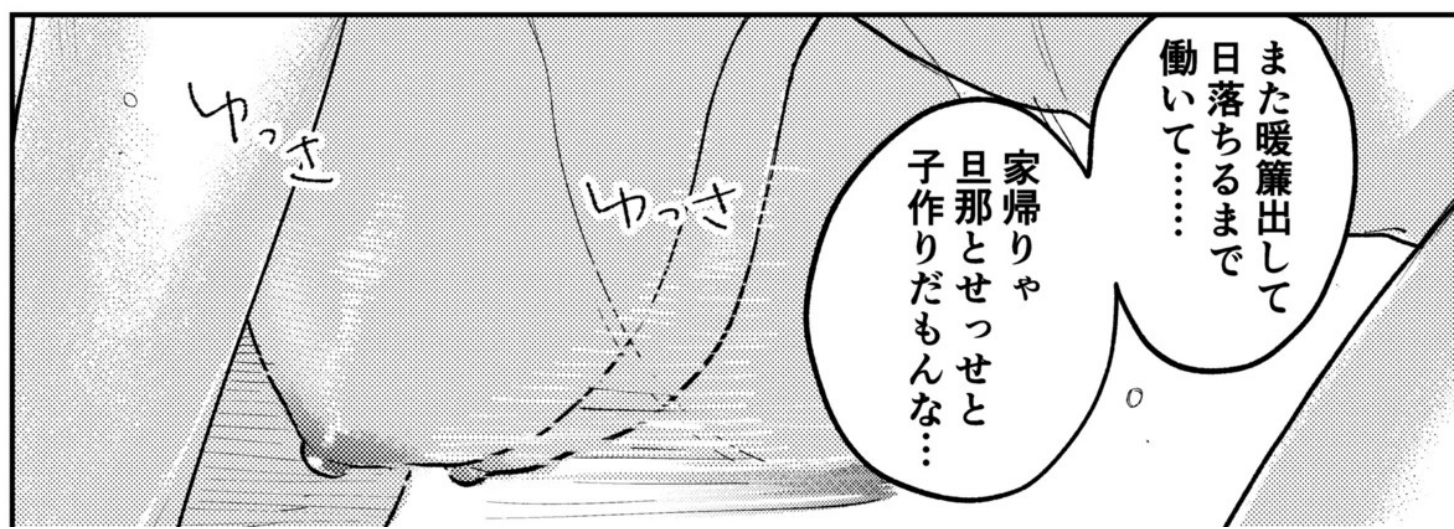
それにしても

麻美さんも
毎日大変だ……

日中たっぷり
働いて……

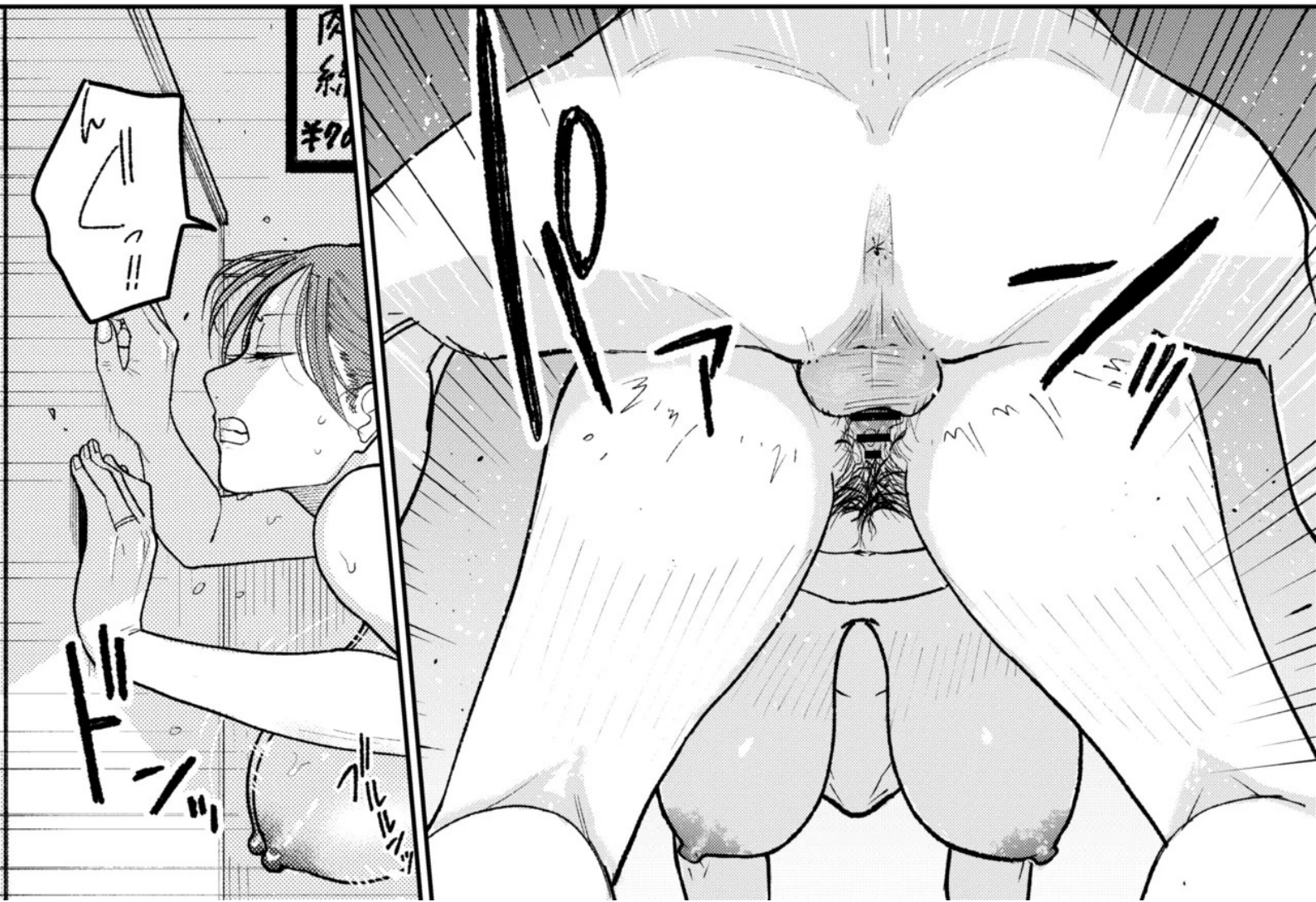
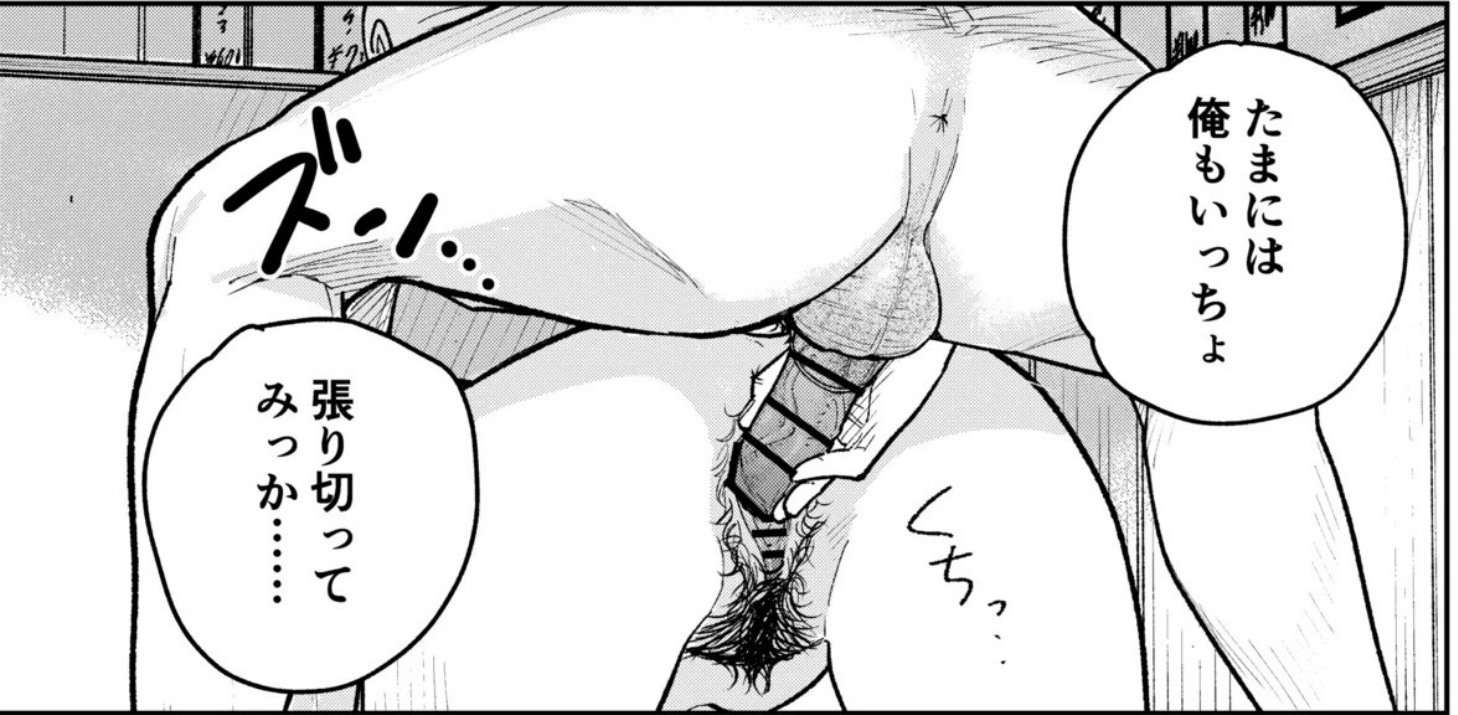


中休みには
老いぼれのマラを
ぶっ刺されて……

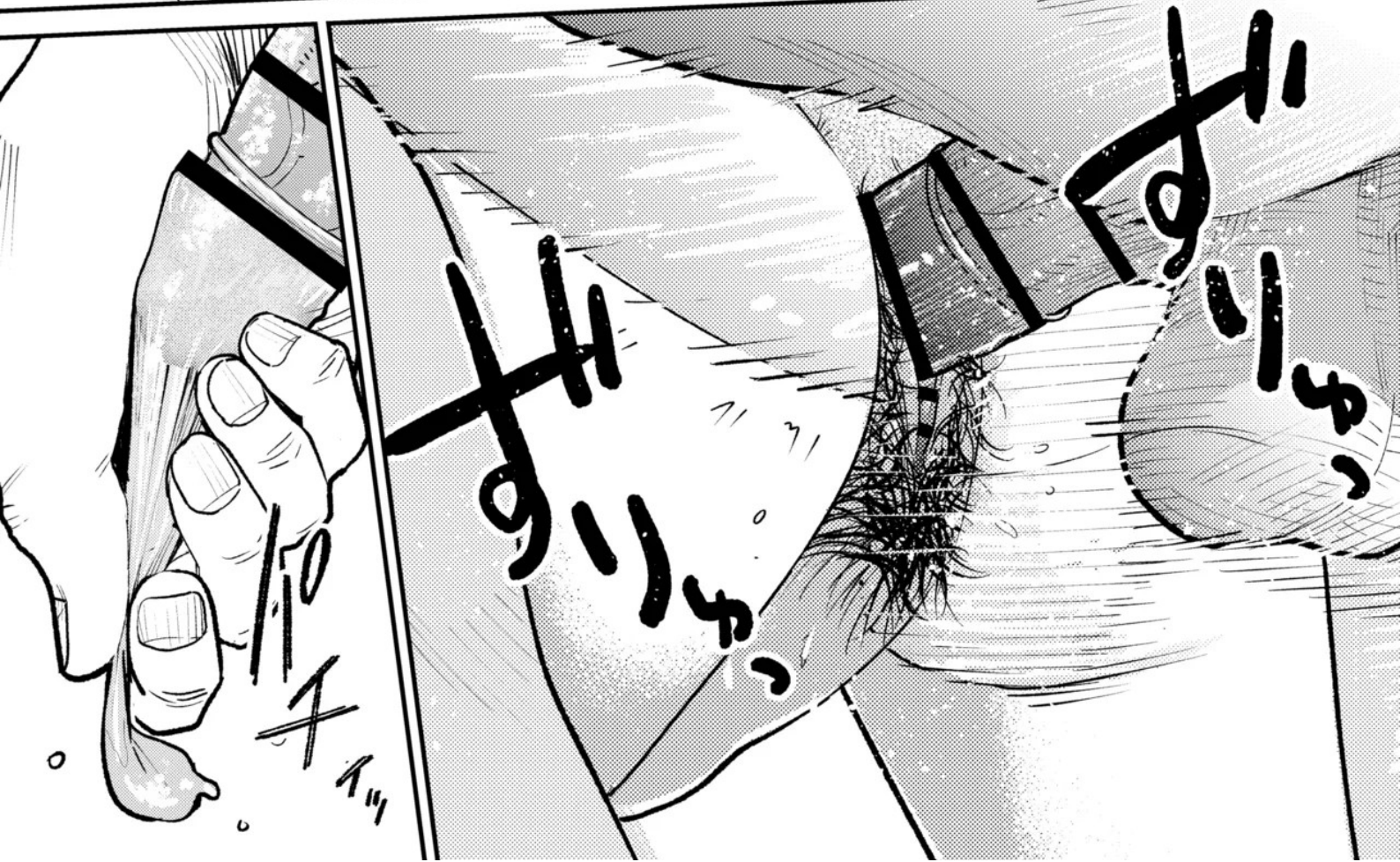


また暖簾出して
日落ちるまで
働いて……

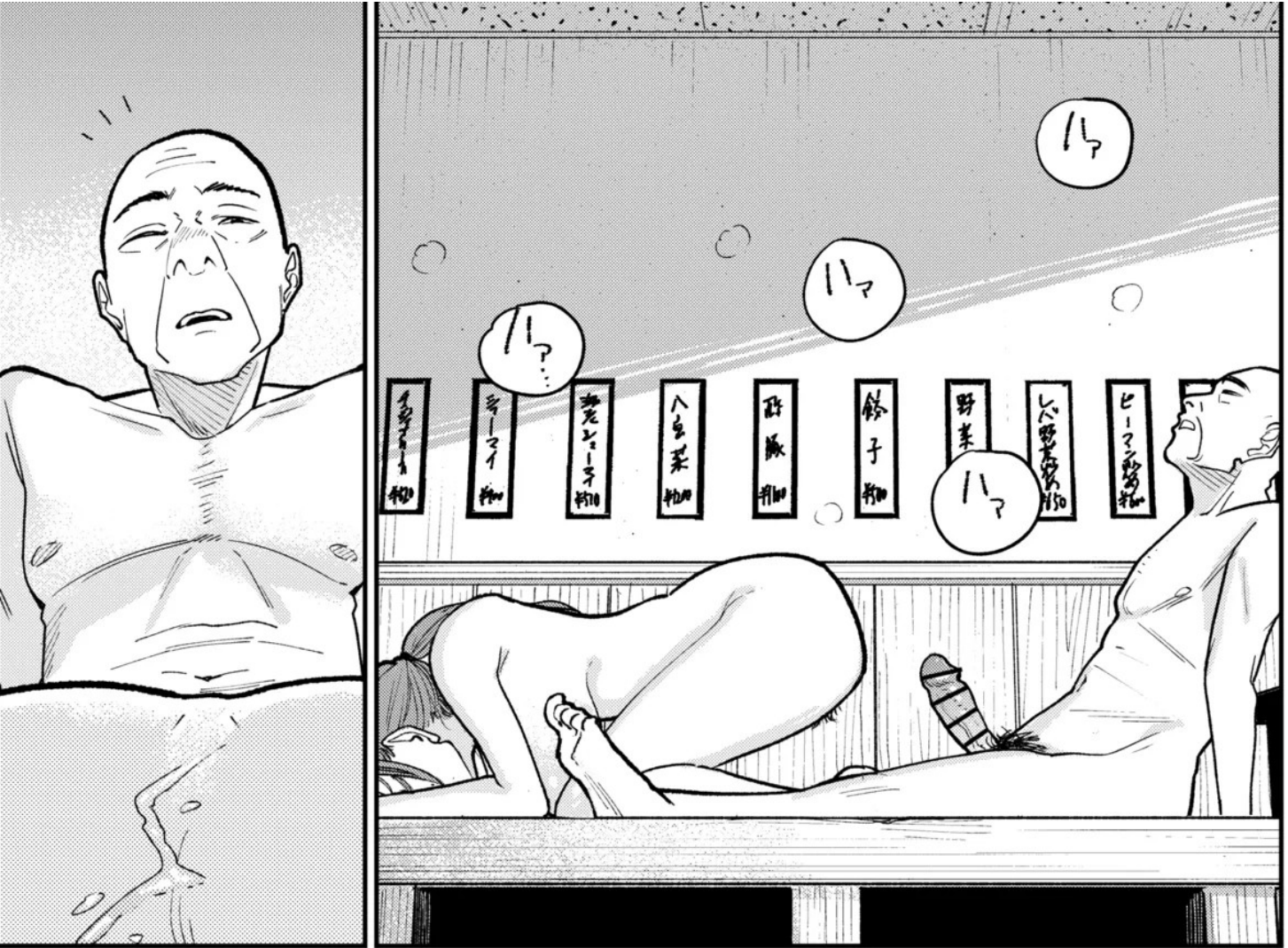
家帰りや
旦那とせつせと
子作りだもんな……

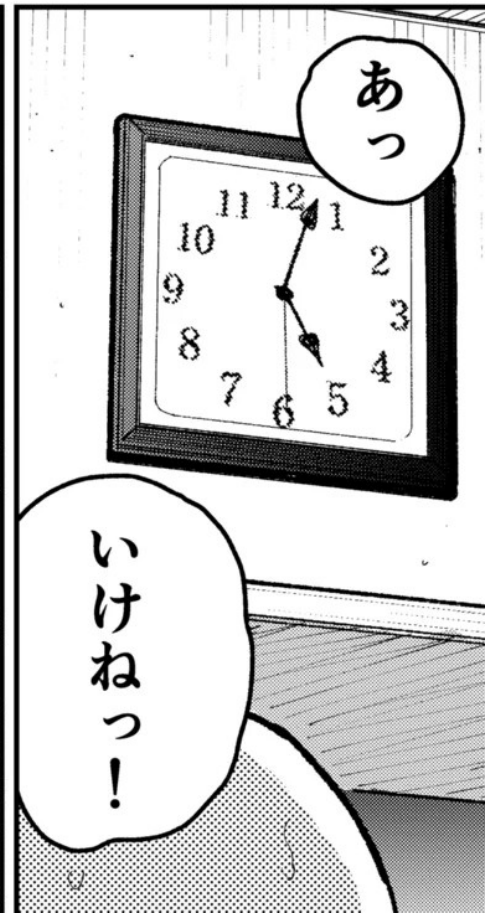
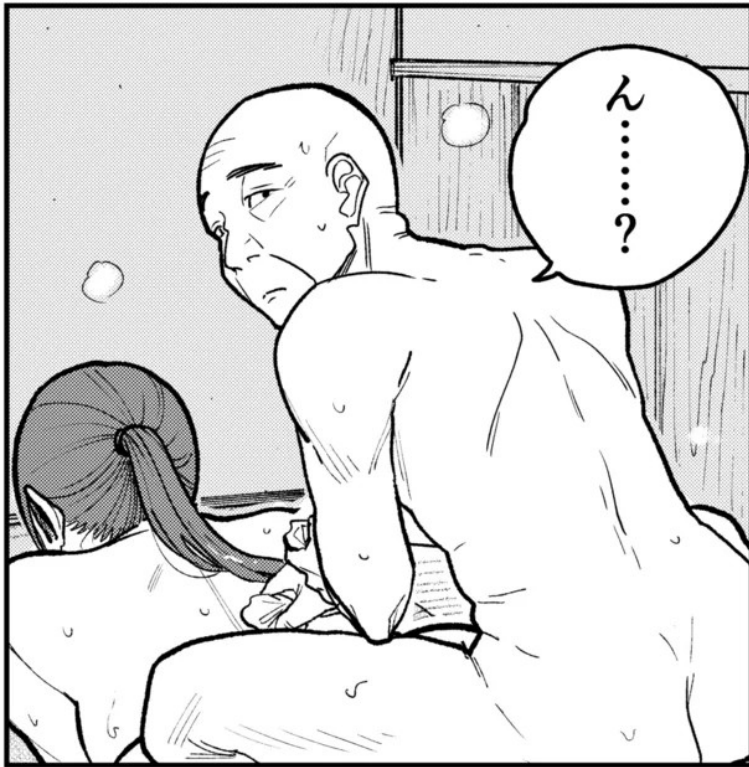














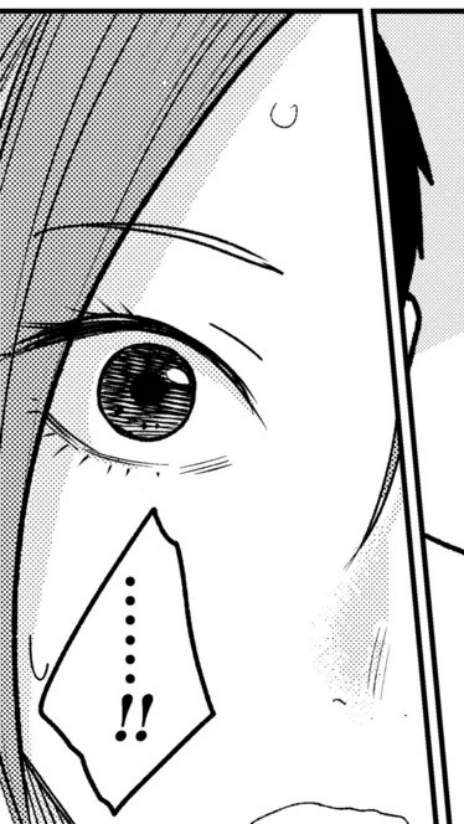
はあいつ!
今開けますっ!



とりあえず
私出てきますっ!

店長は
こっちの片付け
お願いします…!

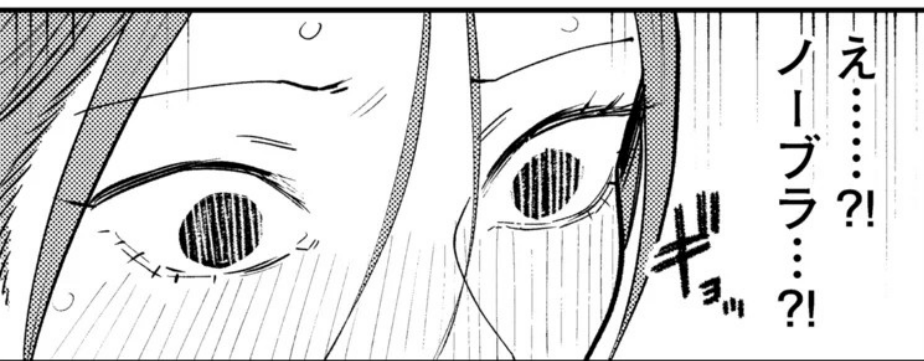
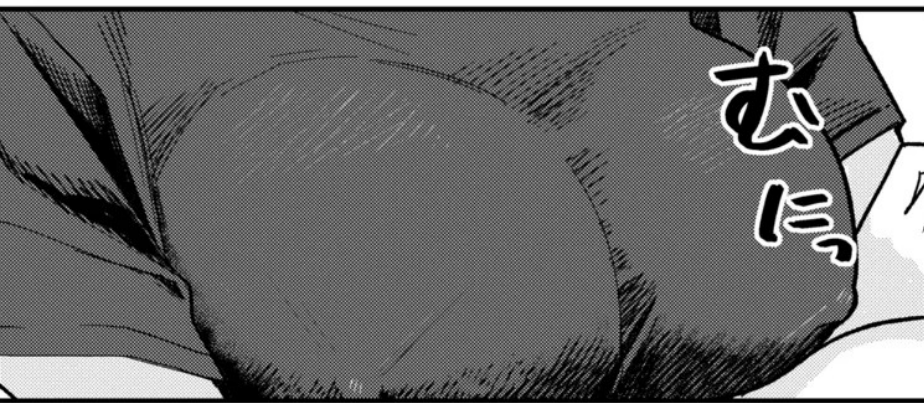
おお:
わかった

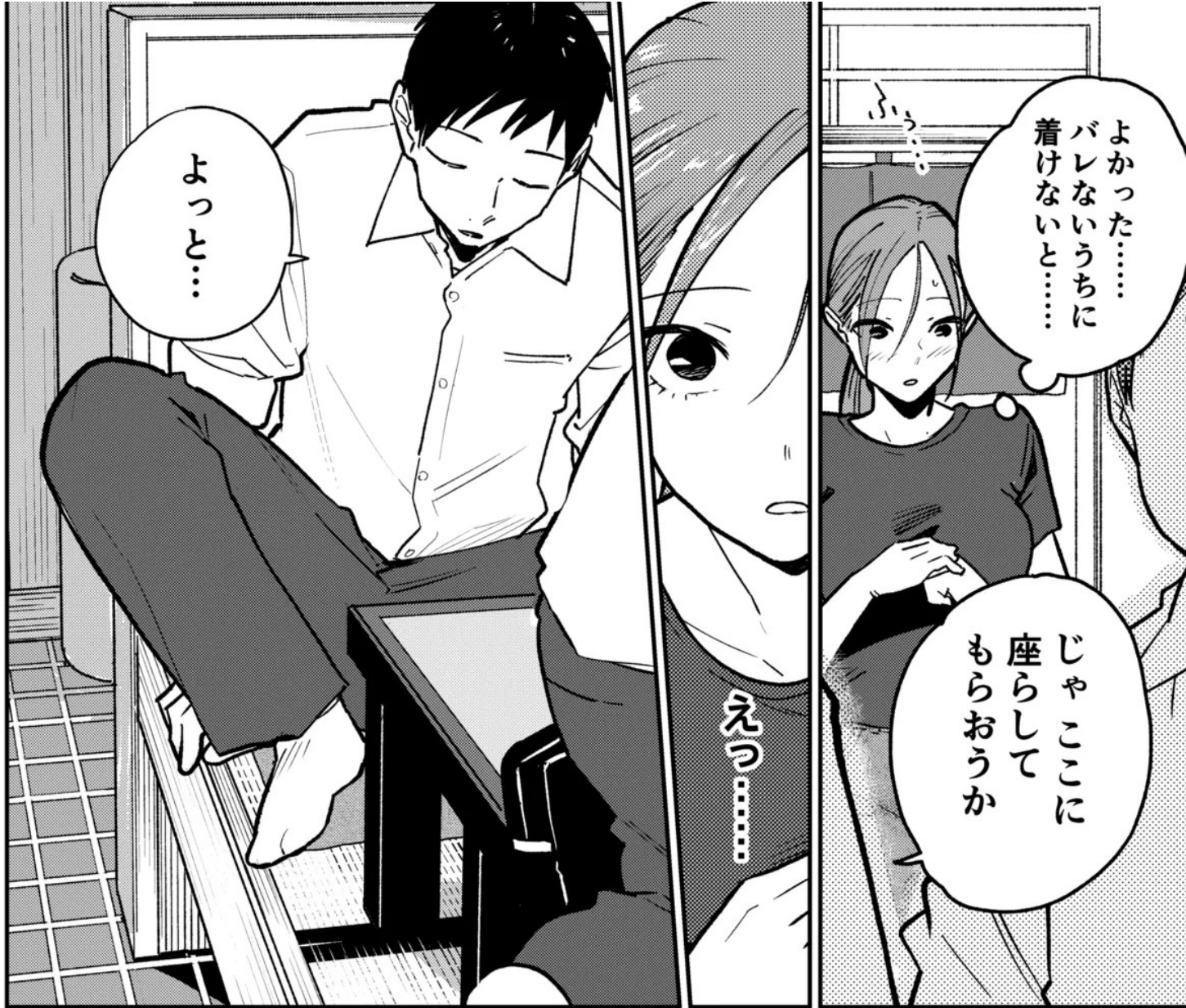


カラ
カラッ

すいません!
お待たせしました!





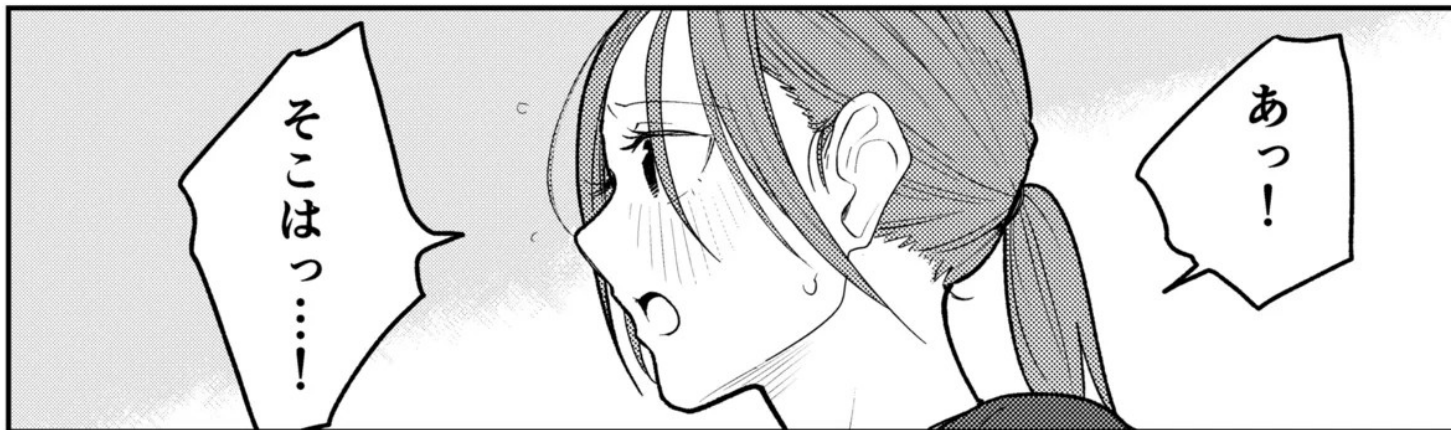


よっよっ...

よかった...
バレないうちに
着けないと...

えっ...

じゃここに
座らして
もらおうか



そこはっ...!

あっ!



だって
そこは...

あっ...
ここダメ?



店長と……

どうぞどうぞ



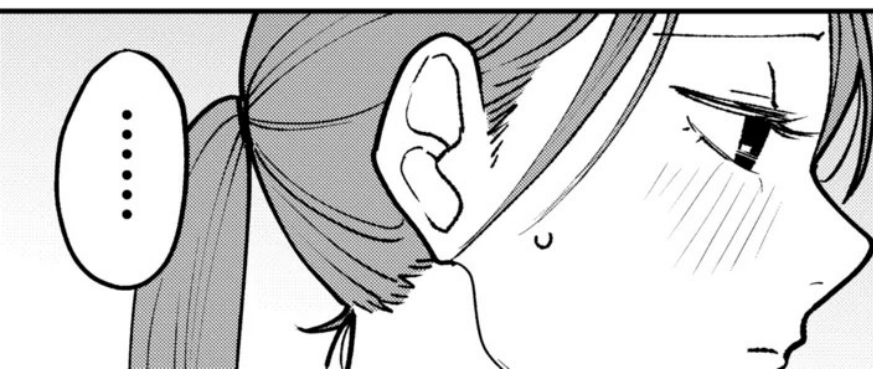
そこは……
さっきまで……



うちの特等席
座ってやってください



えっ



ええ
せっかくご主人
いらしたんだ

あ……
いいですか？

……



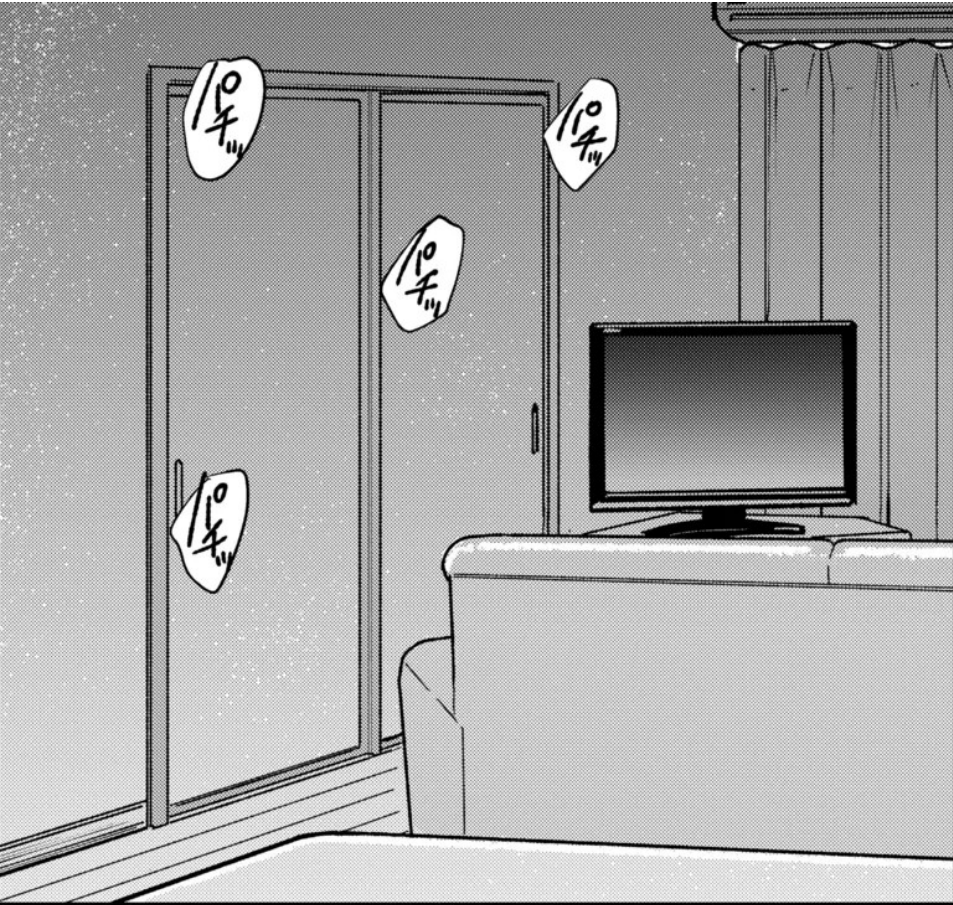
じゃあ
店員さん

オススメは
なんですか？



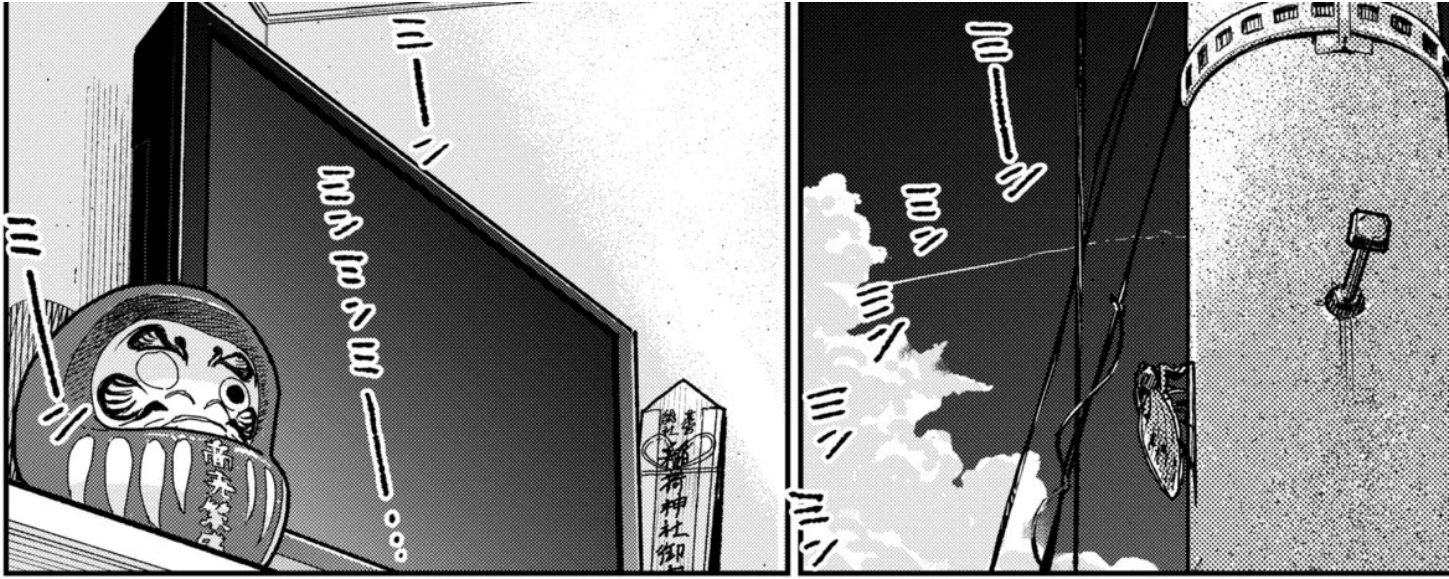
五目そば……

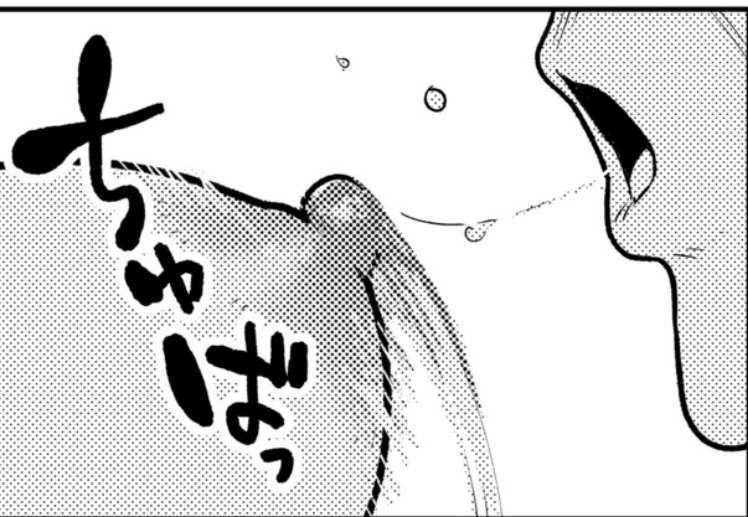
かな……













誠司は絶対
こんな触り方しない……



ありえない……

こんな乱暴で
独りよがりな
触り方……



うん：
大丈夫

だいじょぶ？
痛くない？

私を気遣いながら
優しく触ってく……

ありえない……って
思ってたのに……

なんで……？

分厚く硬い皮の手で
強く揉みしだかれて

ユム

ユム

乳首を激しく
弾かれるたび

テン

テン

誠司の時とは
違う——

圧倒的な男らしさを
オス
感じてしまう……!!

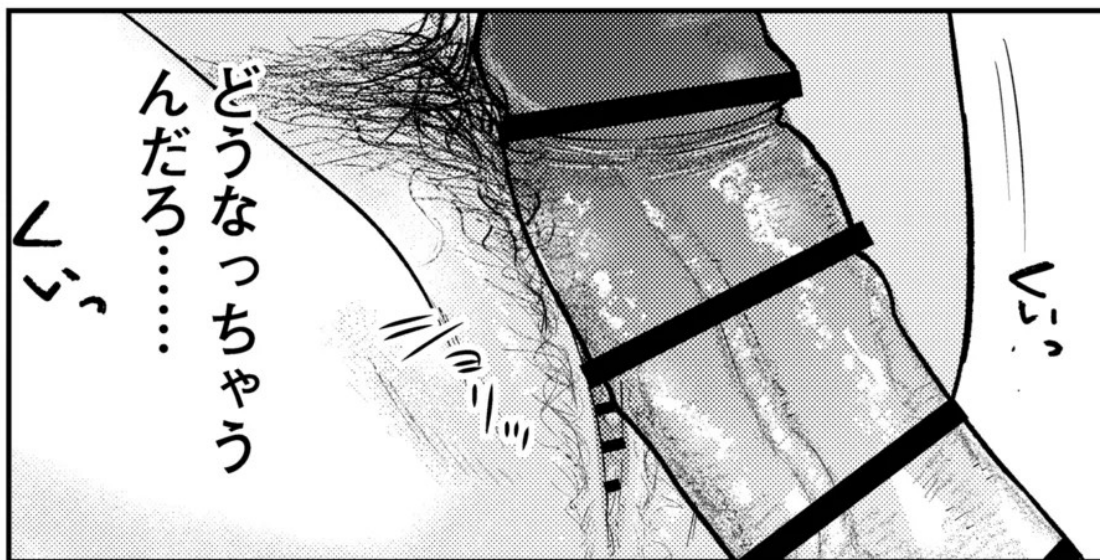


今おまんこの上に
乗っかってる
熱くて硬いのを



そのまま
突き刺されたら……





私……

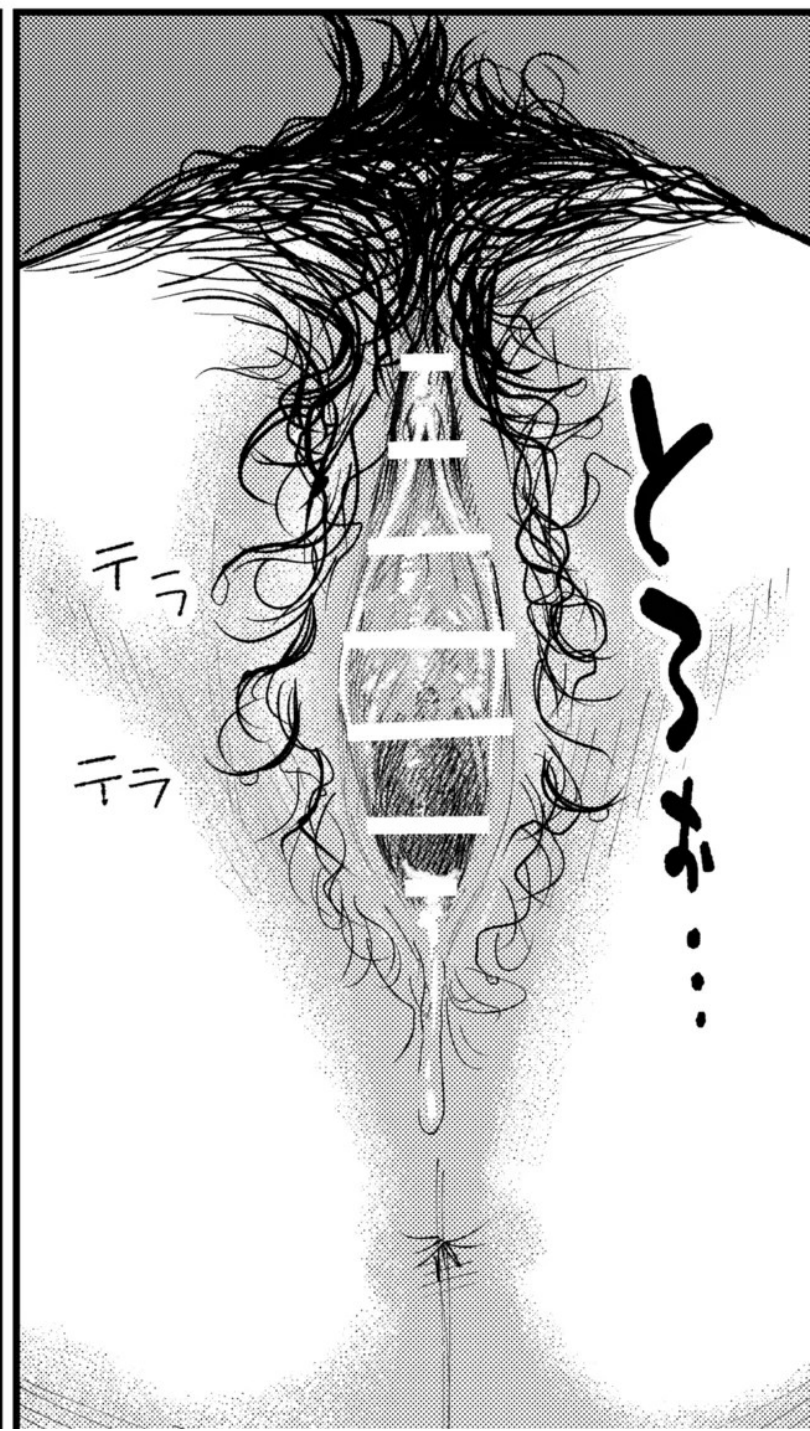
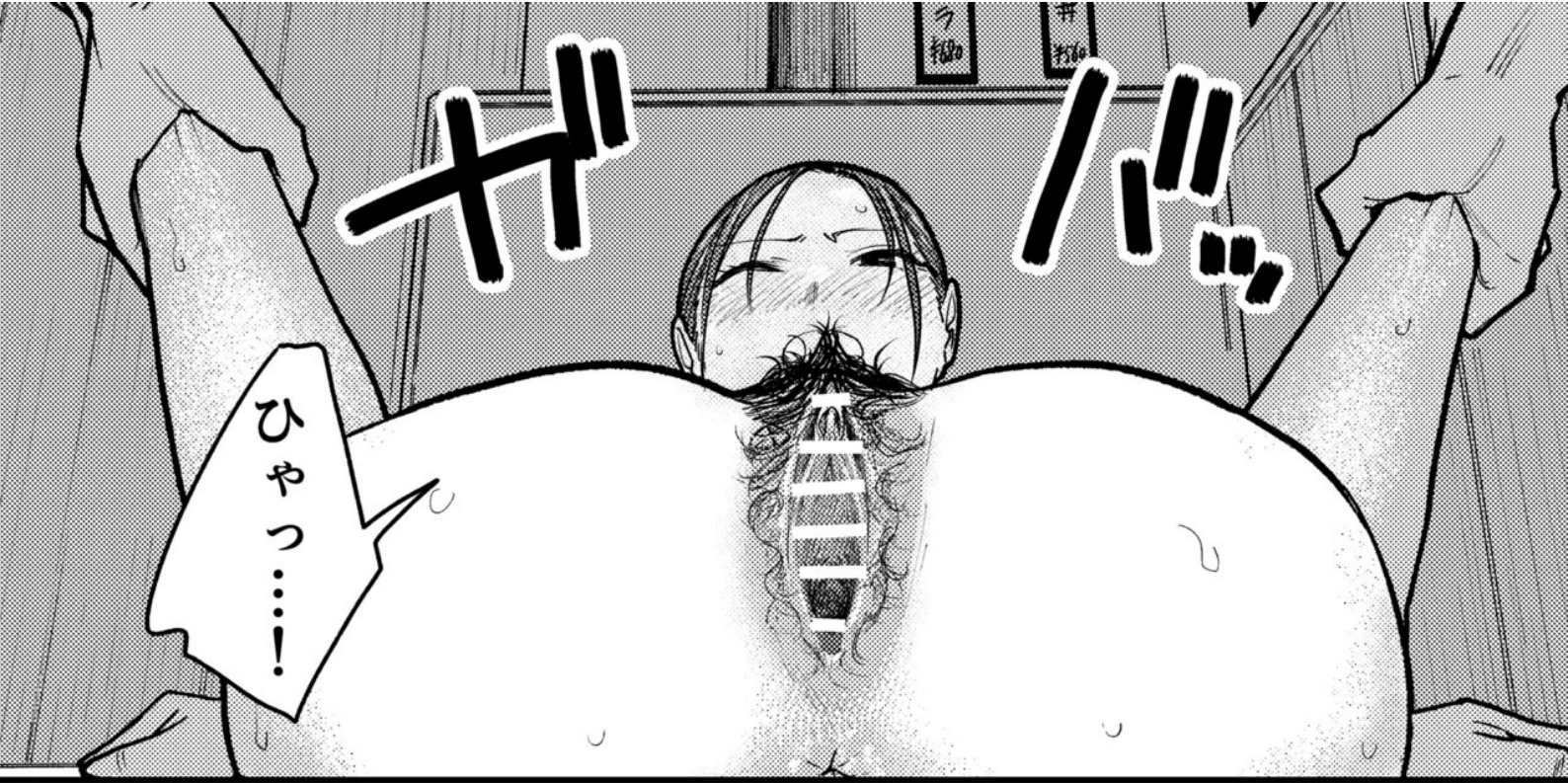
どうなつちやう
んだろ……
くいっ

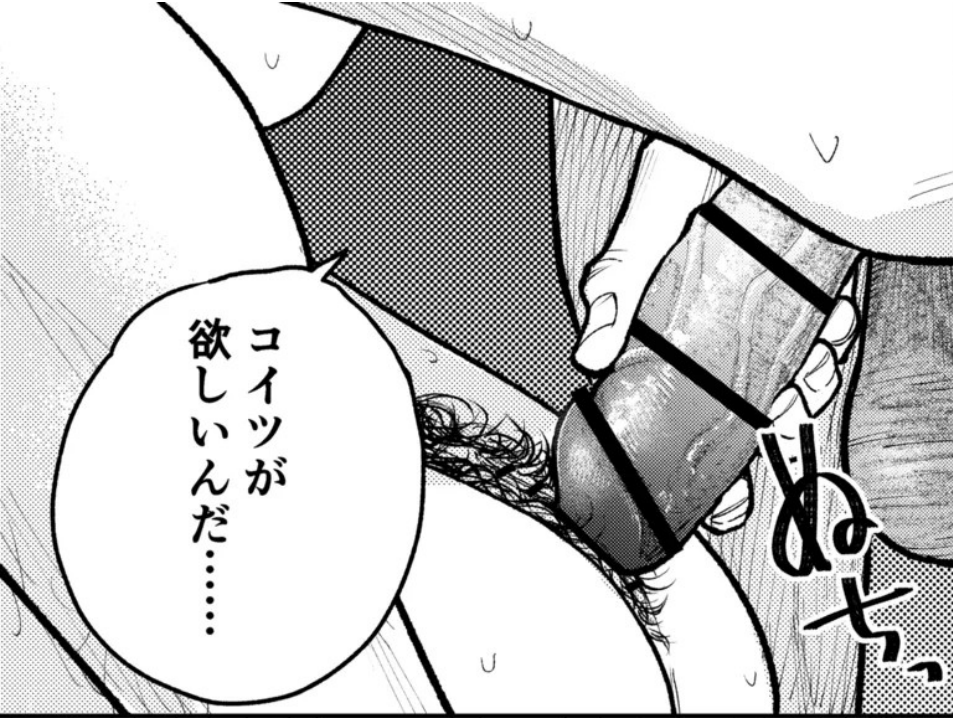
おいおい
麻美さん……

自分から
擦り付けちまって
どうした……？

ちっ……

違いますっ……！





コイツが
欲しいんだ……



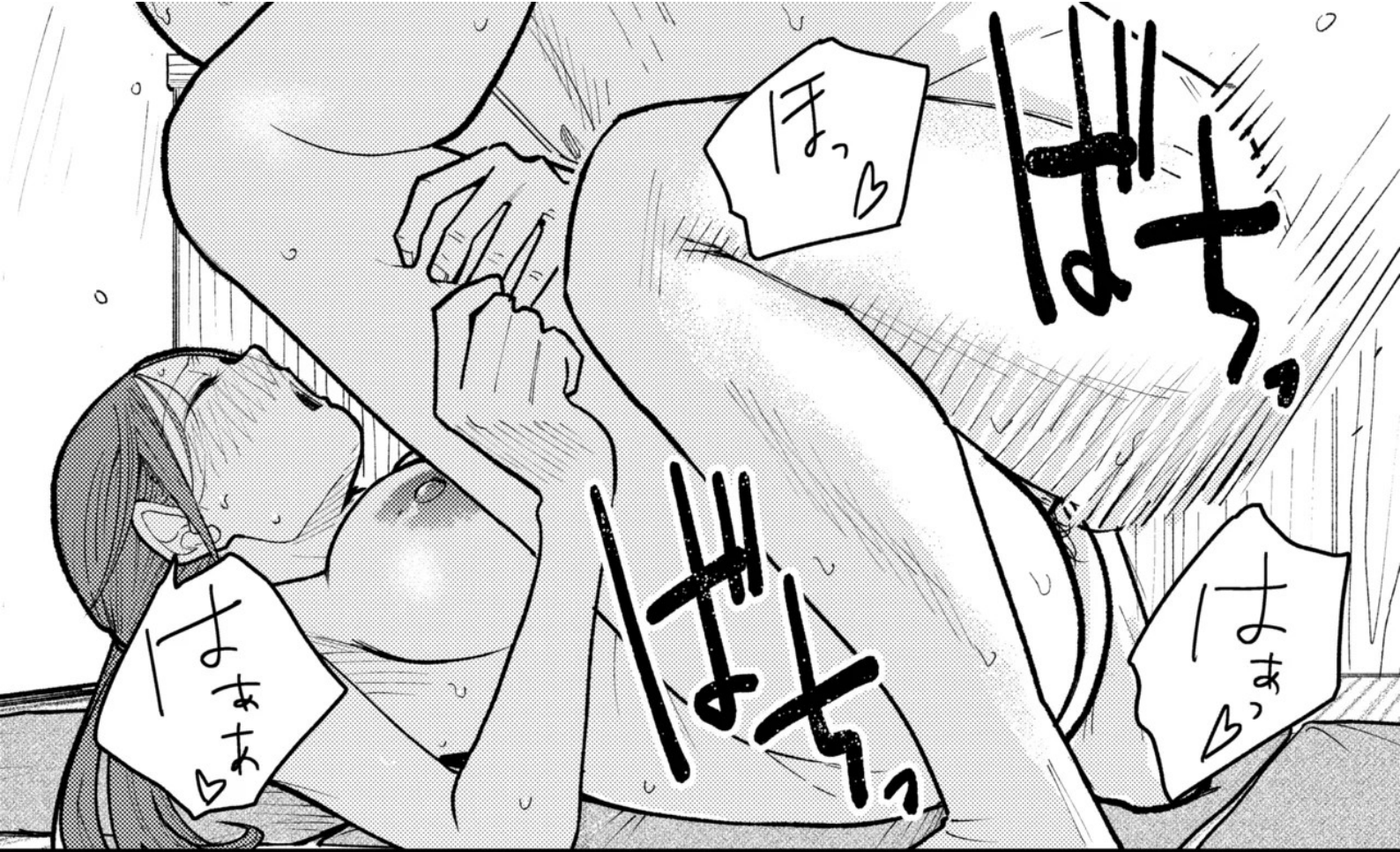
ったく……



ろっ!!

ぬちゅ

ぬちゅ

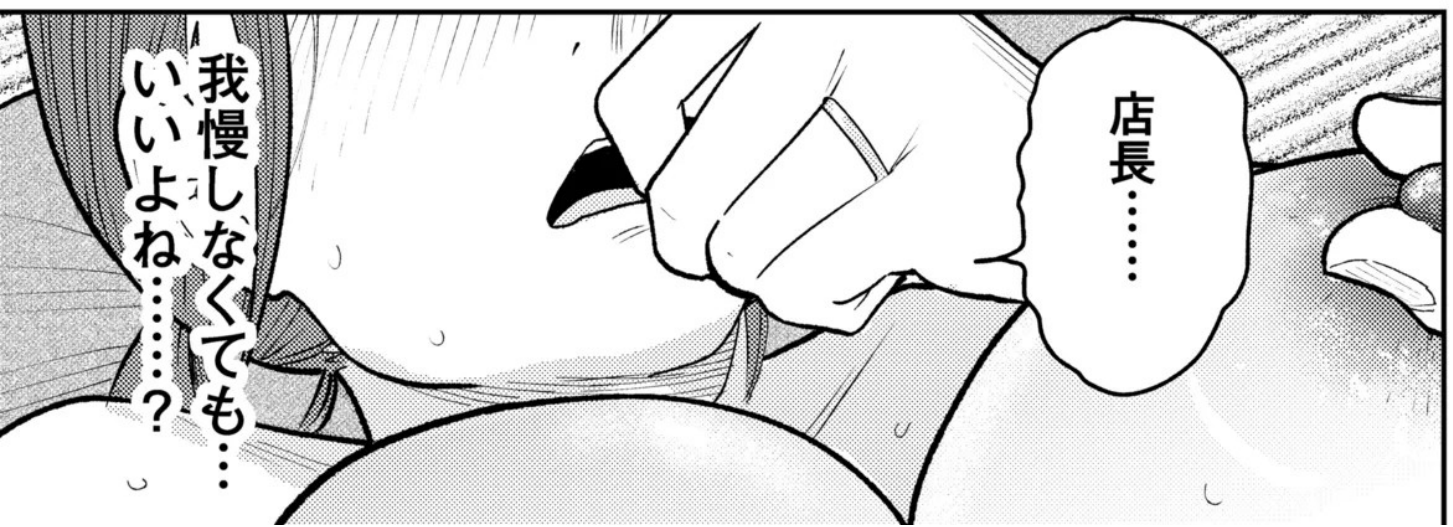
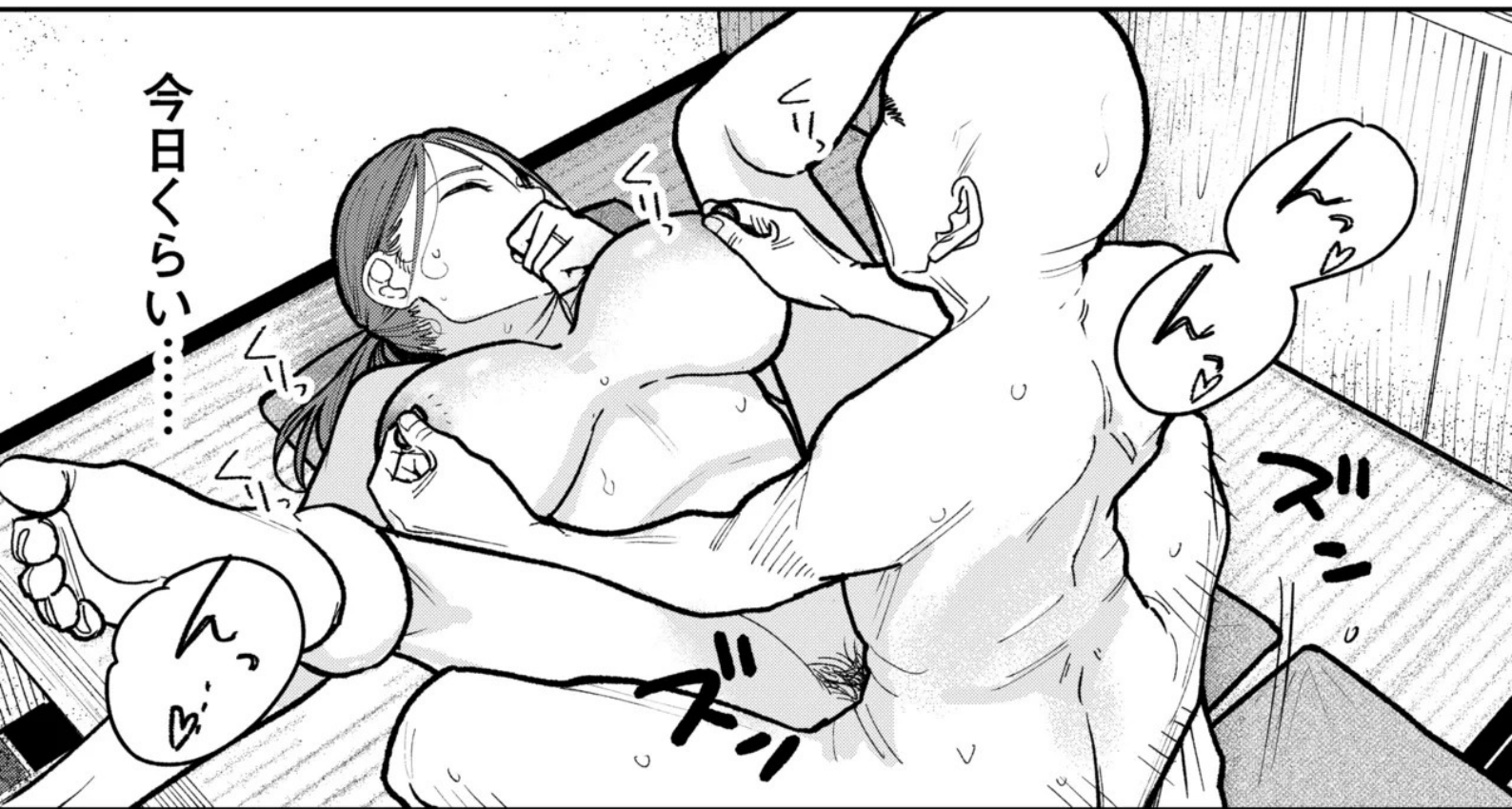


ちびっ子の………!!

私の膣
奥の方まで
全部使われてる………!!







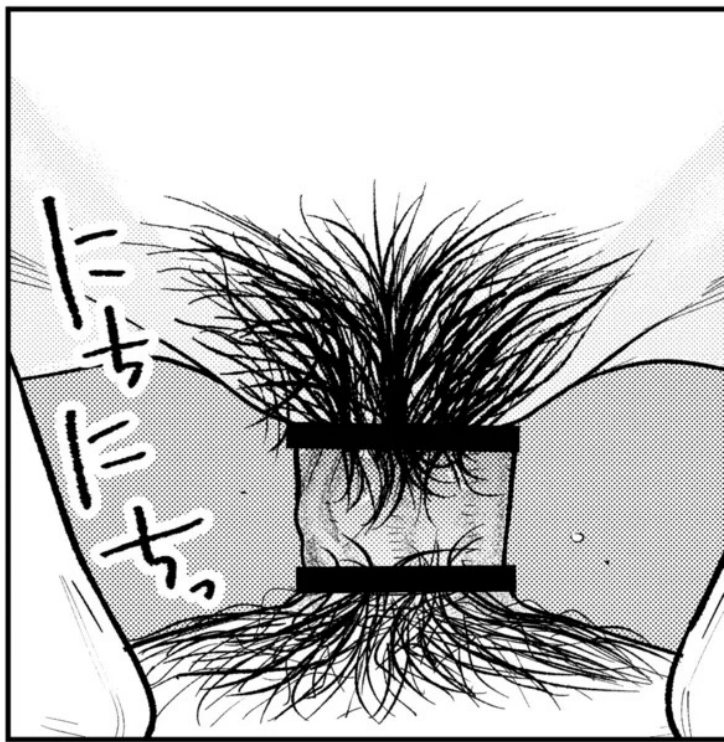


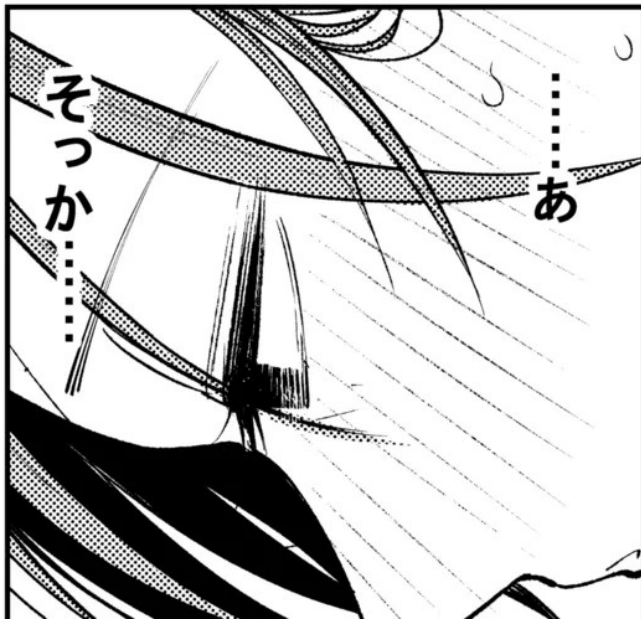
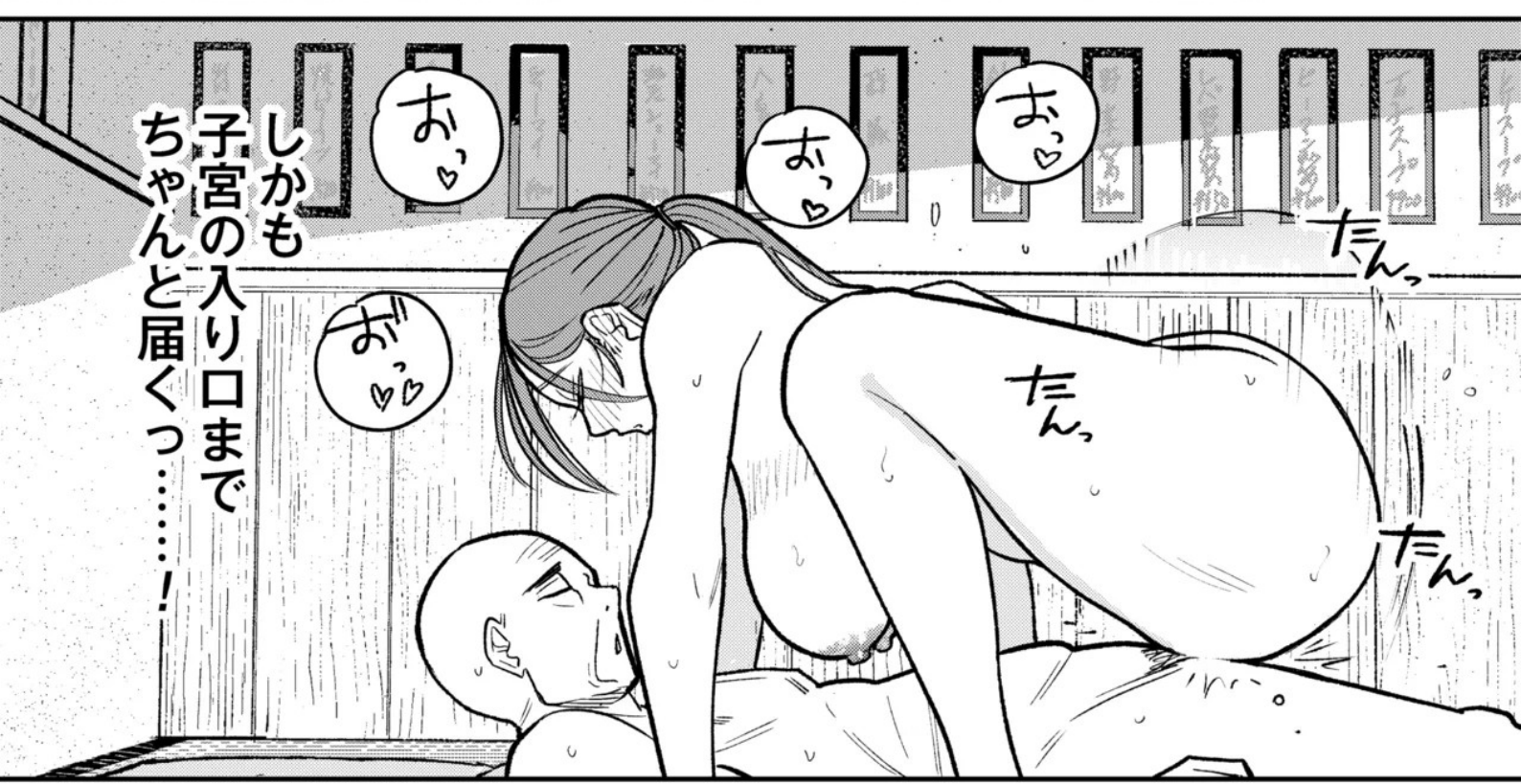
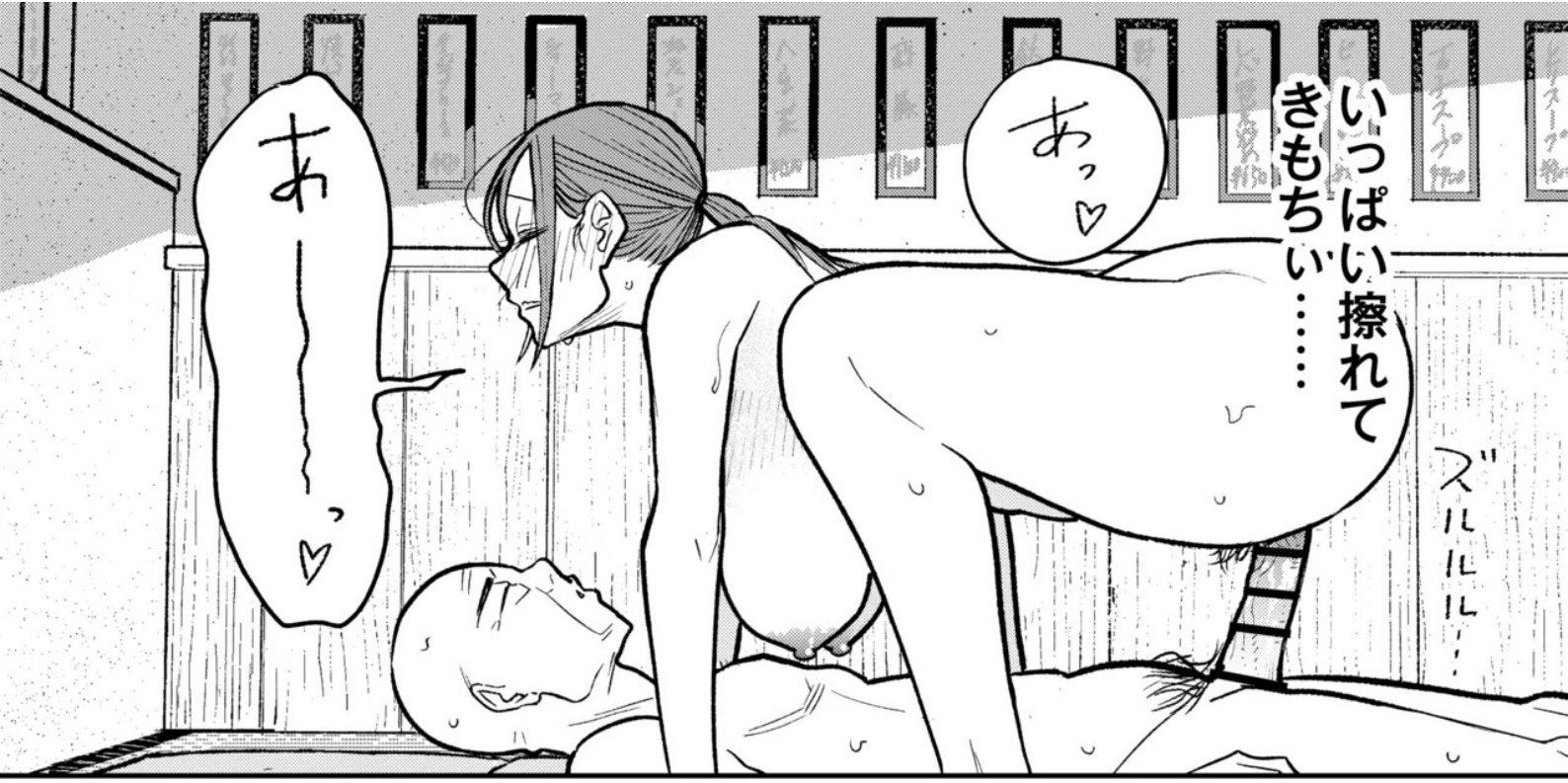
おお……
今日の麻美さんは
我儘だなあ

あの……
上……乗って
いいですか？

っ……

そんじゃあ
麻美さんに
たっぷり
ちんこ擦って
もらおうとするか





誠司とした時

あんな
抜けちゃったのって

とつくに
私の身体が

店長用に
なつてたからだ……

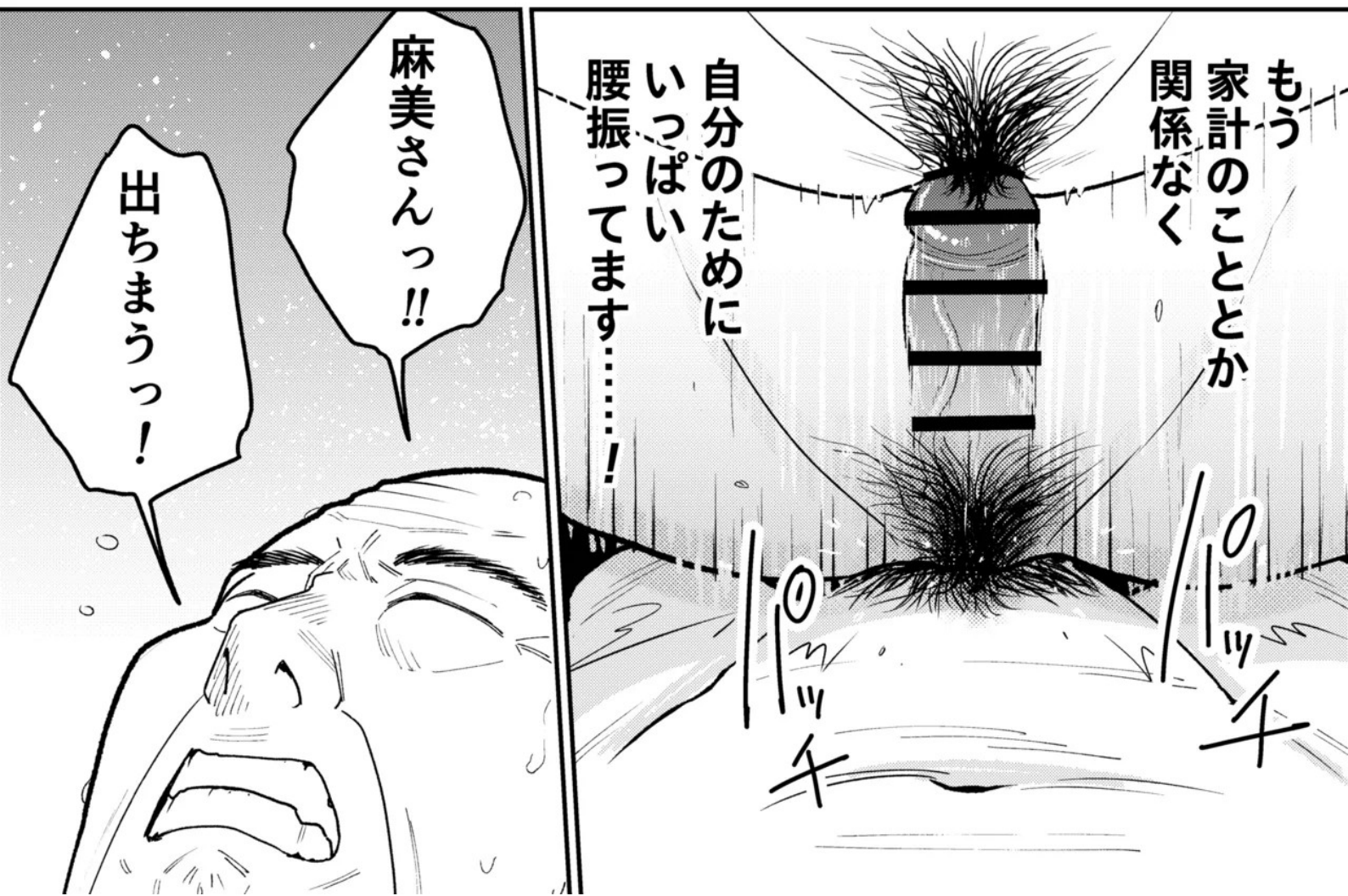
誠司……

ごめんね……

いま私——



他の男性ひとの
おちんちんで
気持ちよくなつてます……!!



出ちまうっ!!

麻美さんっ!!

自分のために
いっぱい
腰振ってます……!!

もう
家計のこととか
関係なく

ダメ………!

抜かなきゃ………!

抜かなきゃ

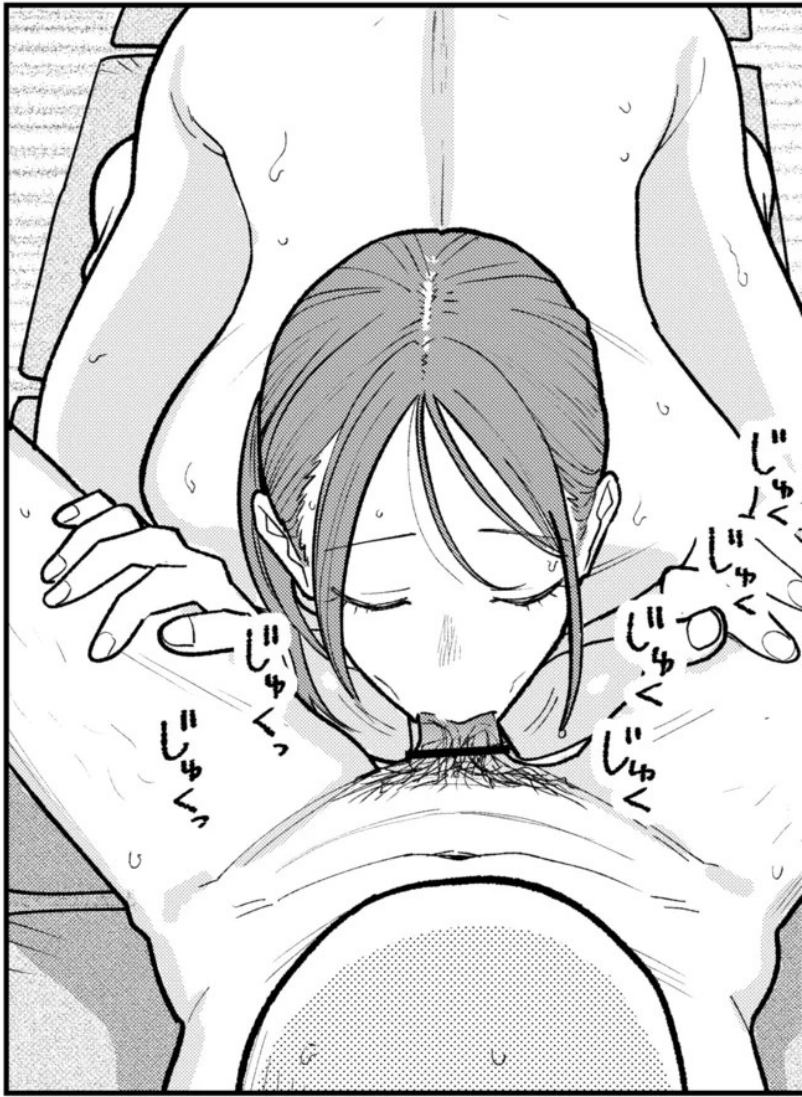
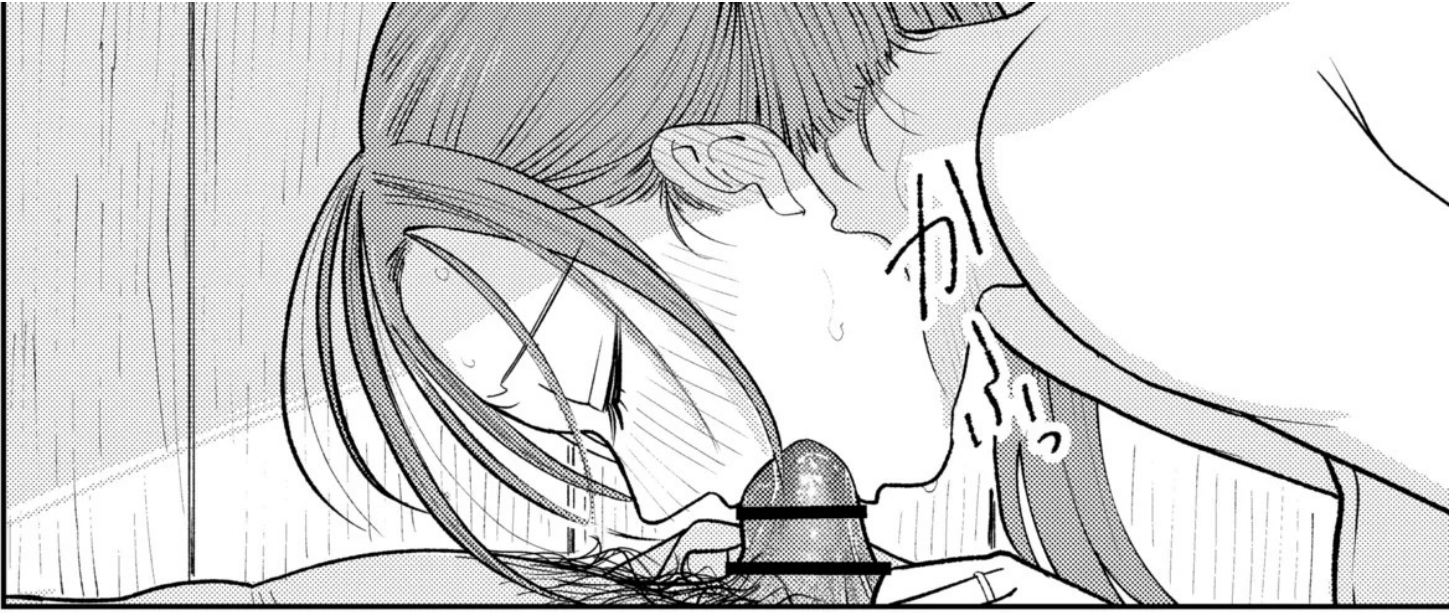
ダメなのに………!

ダメだ

ダメだ

だめだ
とまんないや………







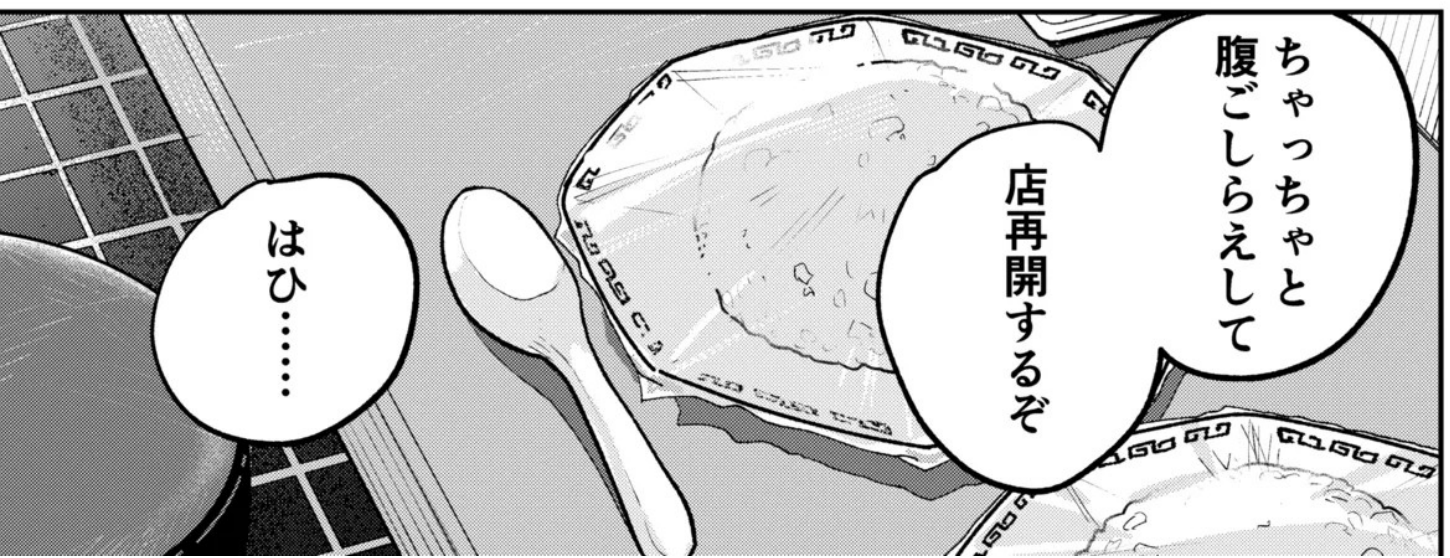
ほれ麻美さん
いつまでも
しゃぶってねーで



もう
こんな時間か……

ほ

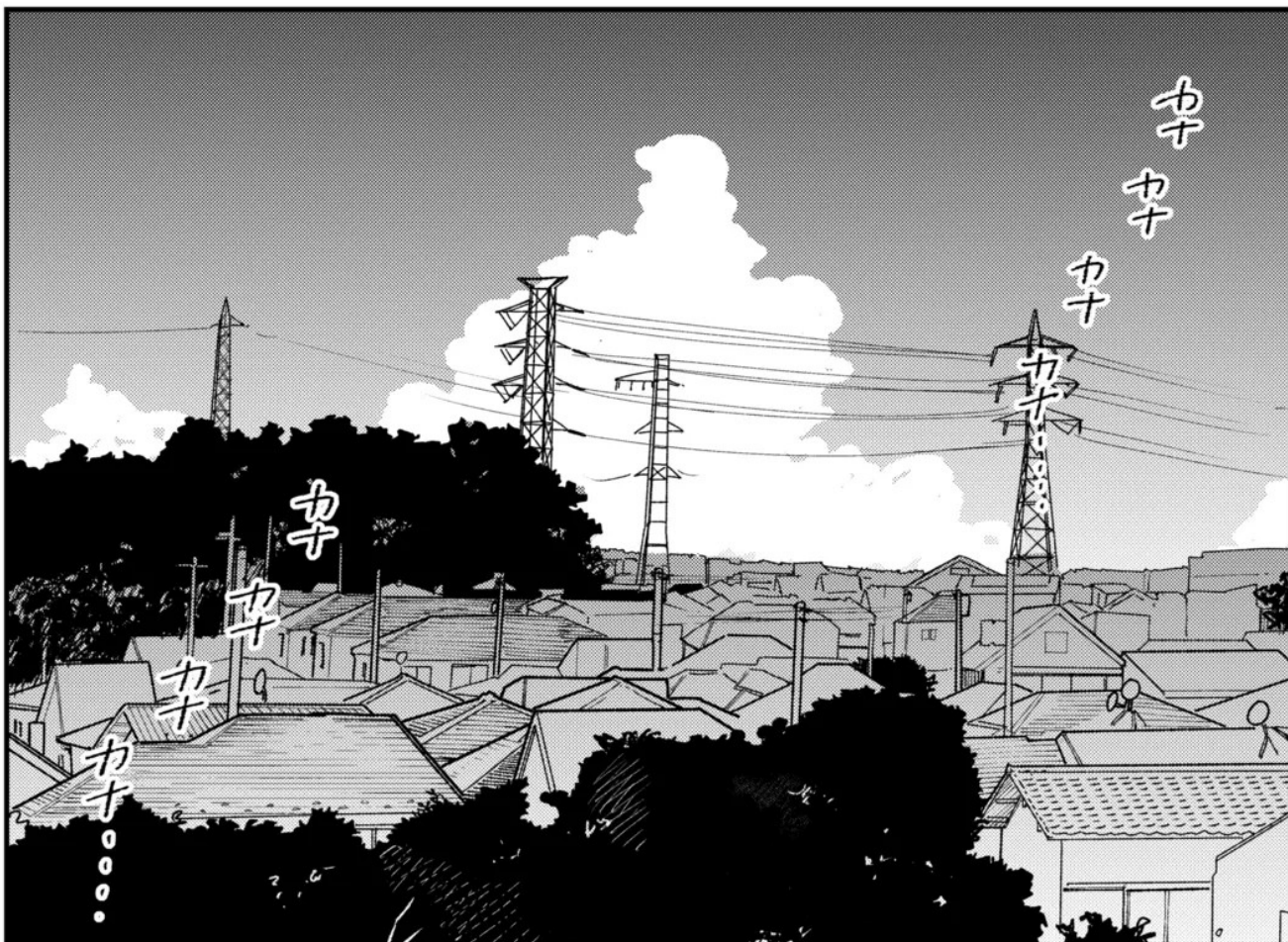
ほ



はひ……

店再開するぞ

ちゅちゅと
腹ごしらえして



長い夏も
ようやく終わりを
迎えた頃

私は
バイトを辞めた

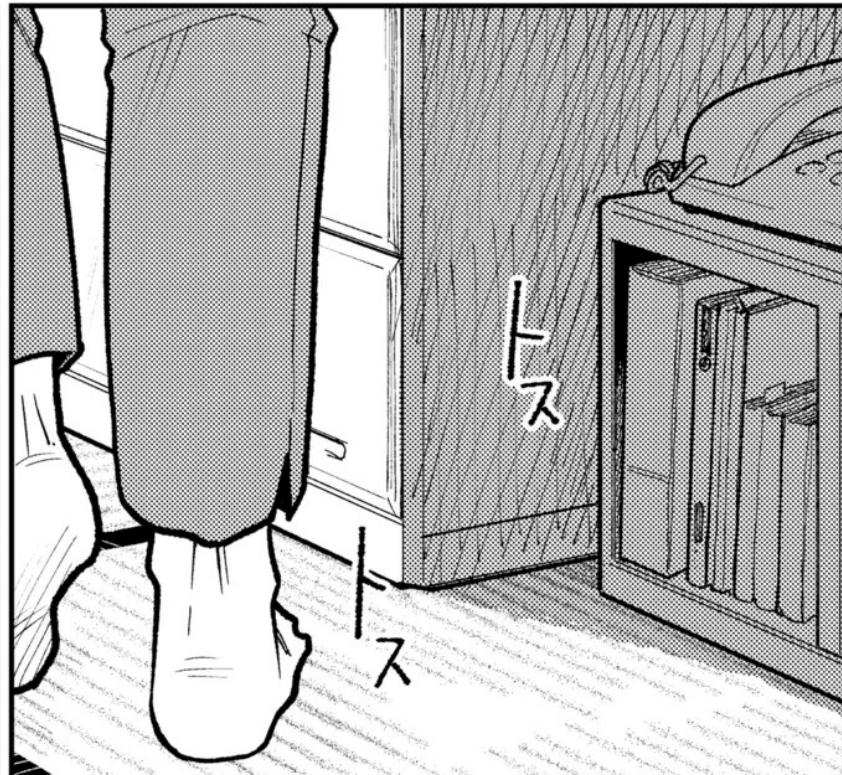
カナ
カナ
カナ
カナ



ぬち



カナ
カナ
カナ
カナ
よし...
カナ
カナ
カナ

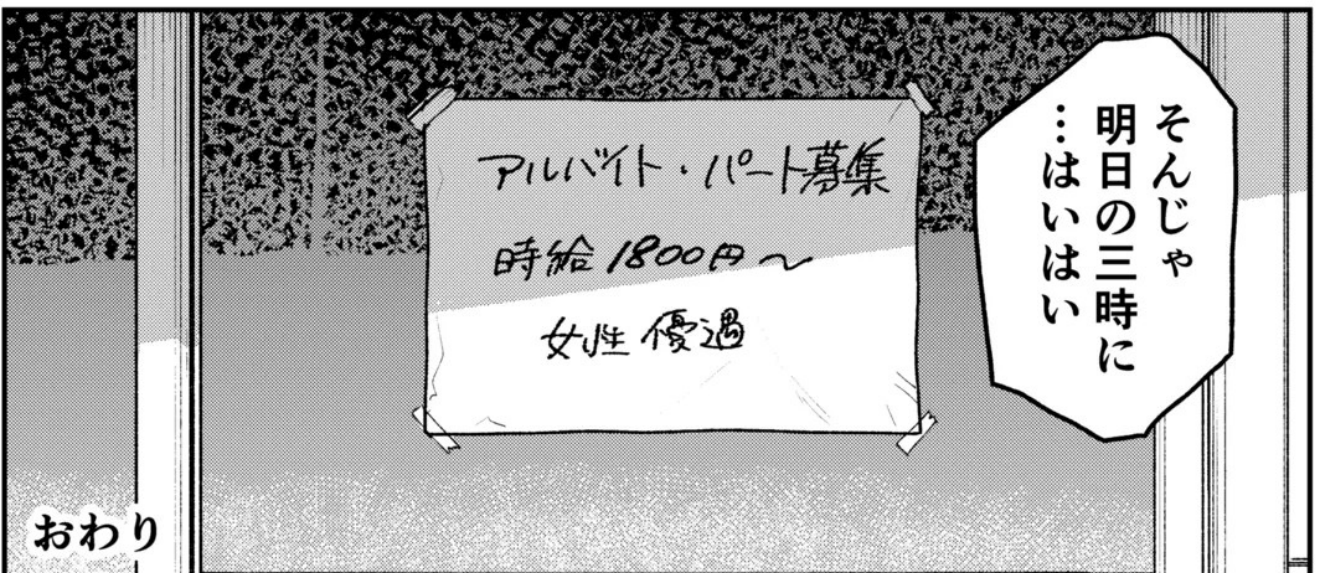
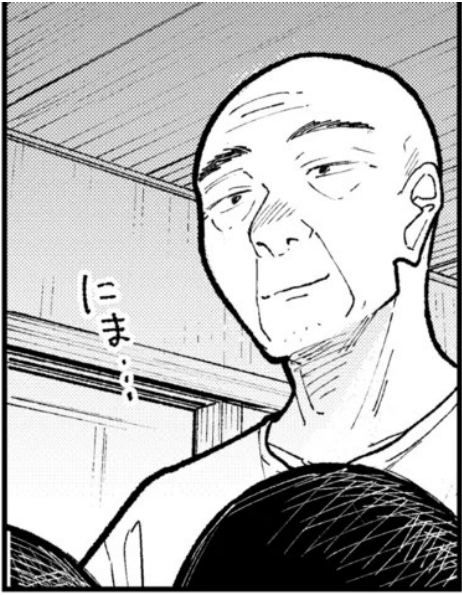


トス

トス



コト...



おわり